Canon

メモリーカードから印刷

コピー

定型フォームを印刷

スキャン

パソコンから印刷

そのほかの使いかた／用紙／原稿のセット／
お手入れ／困ったときには など

らくらく

操作ガイド

PIXUS MP480

かんたんスタートガイド

らくらく操作ガイド（本書）

もっと活用ガイド（電子マニュアル）

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

付属のマニュアルについて

ニャ

かんたんスタートガイド

設置から使えるようになるまでの準備を説明しています。
はじめにお読みください。

らくらく操作ガイド（本書）

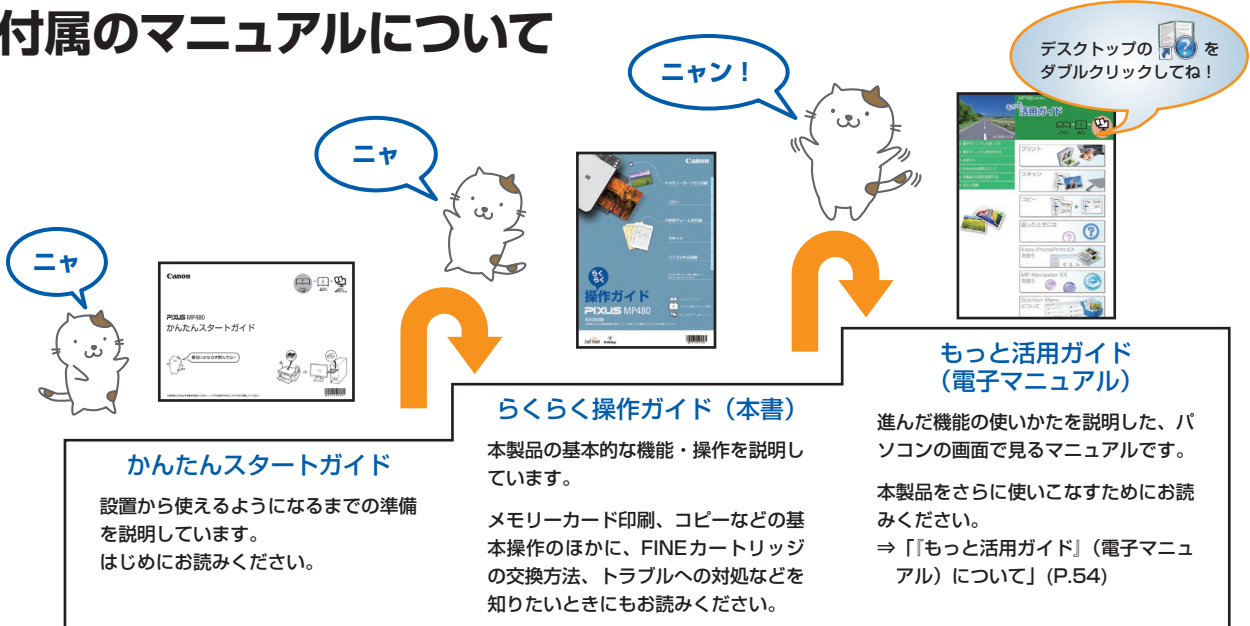
本製品の基本的な機能・操作を説明しています。

メモリーカード印刷、コピーなどの基本操作のほかに、FINEカートリッジの交換方法、トラブルへの対処などを知りたいときにもお読みください。

もっと活用ガイド（電子マニュアル）

進んだ機能の使いかたを説明した、パソコンの画面で見るマニュアルです。

本製品をさらに使いこなすためにお読みください。

⇒「『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）について」（P.54）

本製品でできること

コピーする

⇒ P.26

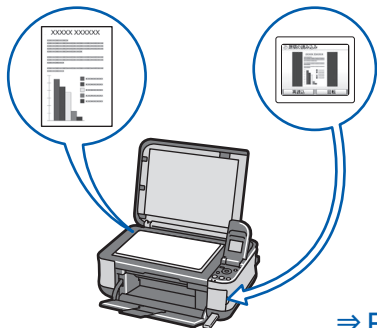
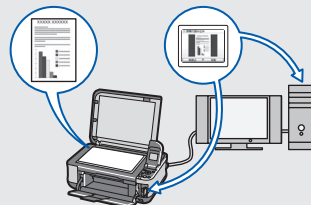
メモリーカードの写真を印刷する

⇒ P.16

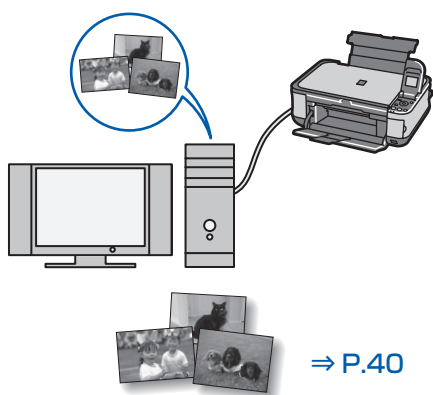
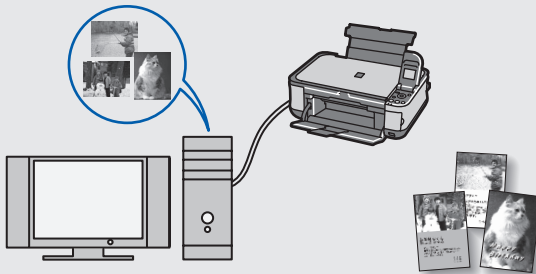
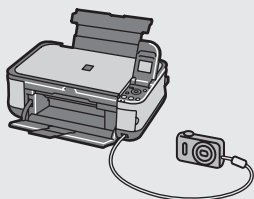
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

スキャンする

スキャンしたデータをUSBフラッシュメモリーに保存

⇒ P.36

スキャンしたデータをメモリーカード／パソコンに保存

パソコンからスキャン

⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)

パソコンから印刷する

PictBridge対応機器、携帯電話などから印刷する

⇒『もっと活用ガイド』
(電子マニュアル)

その他

カードスロットをパソコンのドライブに設定する

⇒『もっと活用ガイド』
(電子マニュアル)

目次

付録 111

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

Exif Printについて

本製品は、「Exif Print」に対応しています。
Exif Printは、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。
Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

記載について

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

Windows　Windows独自の操作について記載しています。

Macintosh　Macintosh独自の操作について記載しています。

本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition（以降、Windows Vista）またはMac OS X v.10.5.xをご使用の場合に表示される画面で説明しています。
ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

商標について

- Microsoft は、Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMacは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- DCFは、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。

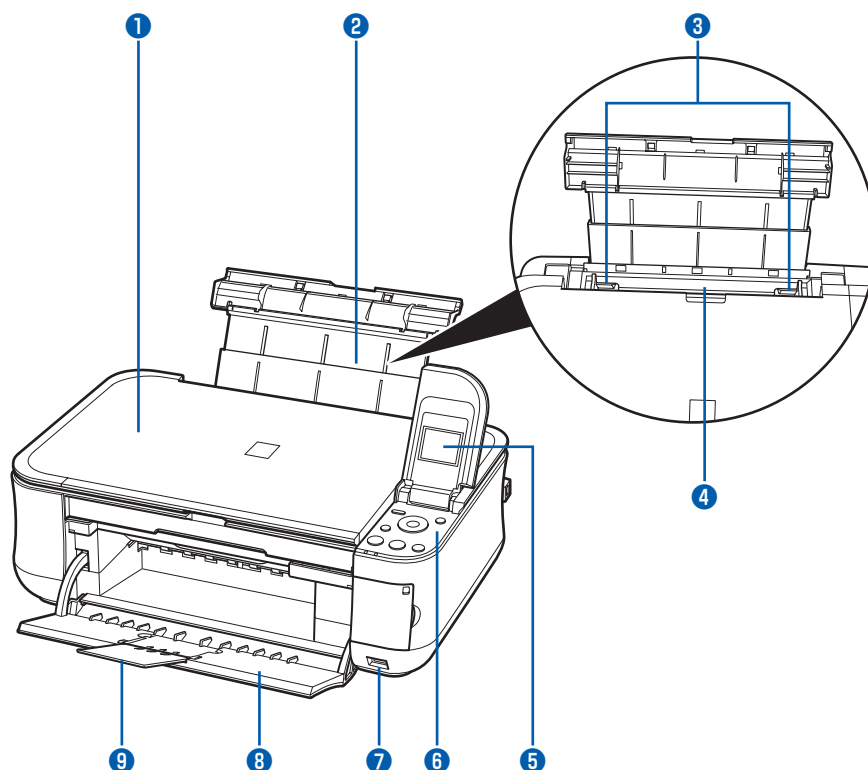
お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一誤りや記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。
  連絡先は、別紙の『サポートガイド』に記載しています。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要になったときは、回収・リサイクルに出してください。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

本製品について知っておこう

ここでは、製品の各部名称や、製品を使用する前に知っておいていただきたい基本操作について説明しています。

各部の名称と役割

前面

❶ 原稿台カバー
原稿台ガラスに原稿をセットするときに開きます。

❷ 用紙サポート
後トレイに用紙をセットするときに、引き出して奥に傾けて使用します。

❸ 用紙ガイド
動かして用紙の両端に合わせます。

❹ 後（うしろ）トレイ
本製品で使用できるさまざまなサイズ、種類の用紙をセットできます。一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に1枚ずつ給紙されます。⇒P.58

❺ 液晶モニター
メッセージやメニュー項目、動作状況などが表示されます。印刷する写真もここで確認します。

参 考

- 5分間操作をしないと画面が消灯します。そのときは、操作パネルで電源ボタン以外のボタンを押すか、印刷の操作をすると復帰します。

❻ 操作パネル
本製品の設定や操作をするときに使用します。⇒P.12

❼ カメラ接続部
デジタルカメラなどのPictBridge対応機器や、オプションのBluetoothユニットBU-30から印刷するときに、ここに接続します。⇒P.52
また、スキャンしたデータを保存するUSBフラッシュメモリーもここに取り付けます。⇒P.37

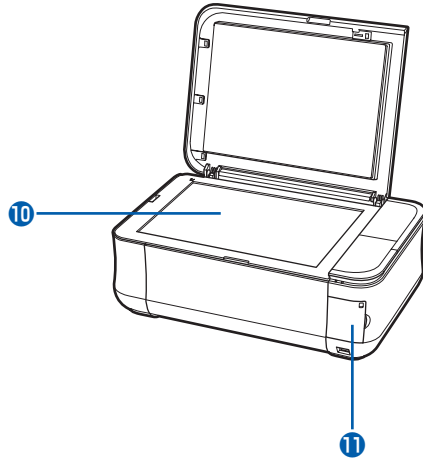
⚠警告

- 本製品のカメラ接続部には、PictBridge対応機器、BluetoothユニットBU-30（オプション）およびUSBフラッシュメモリー以外は接続しないでください。火災や感電、本製品の損傷の原因となる場合があります。

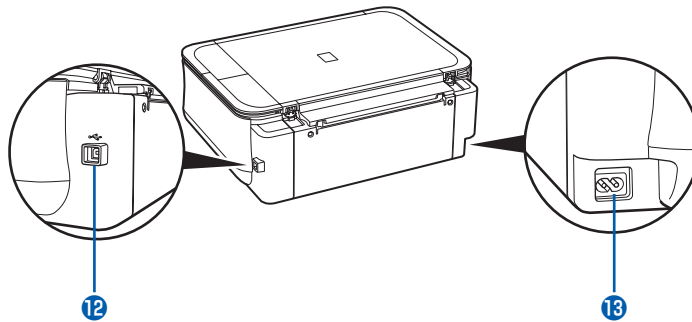
⚠注意

- 金属部分に触れないでください。

❽ 排紙トレイ
コピーや印刷が開始されると自動的に開き、印刷された用紙が排出されます。

❾ 補助トレイ
用紙を支えるために手前に開いて使用します。
印刷するときは開いてください。

⑩ 原稿台ガラス
コピーやスキャンする原稿をセットします。

⑪ カードスロットカバー
メモリーカードをセットするときに開きます。
⇒P.22

背面

⑫ USBケーブル接続部
USBケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

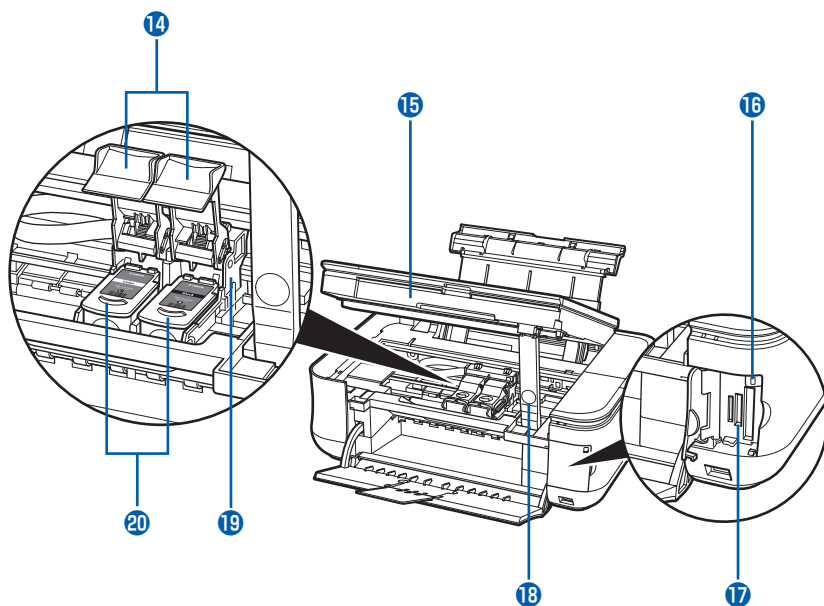
⚠注意

- 金属部分に触れないでください。

重　要

- パソコンに本製品を接続して印刷または画像をスキャンしているときに、USBケーブルを抜き差ししないでください。

⑬ 電源コード接続部
付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

内部

⑭ インクカートリッジ固定カバー
FINEカートリッジを固定します。

⑮ スキャナユニット（カバー）
原稿をスキャンするユニットです。FINEカートリッジを交換するときや、内部につまった用紙を取り除くときに開きます。開くときには、原稿台カバーと一緒に持ち上げます。

⑯ アクセスランプ
点灯または点滅し、メモリーカードの状態を知らせます。⇒P.23

⑰ カードスロット
メモリーカードをセットします。⇒P.22

⑱ スキャナユニットサポート
スキャナユニット（カバー）を開けたときに、スキャナユニット（カバー）を固定させます。

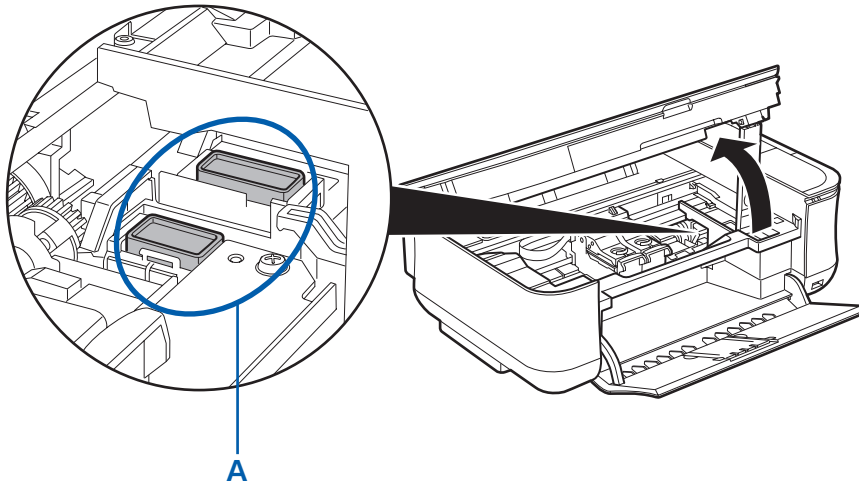
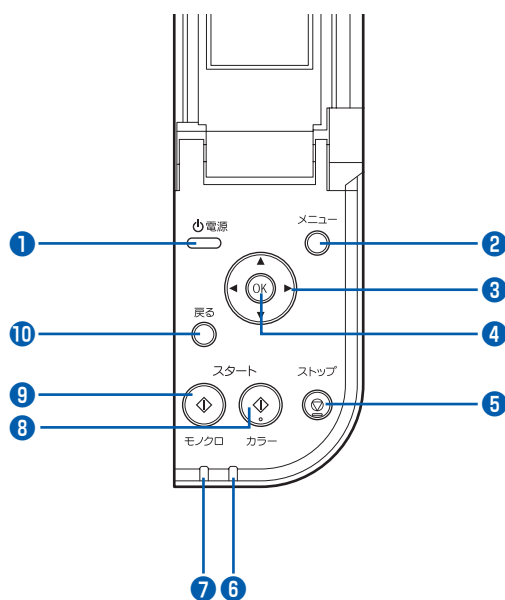
⑲ FINEカートリッジホルダ
FINEカートリッジを取り付けます。
左側にカラー FINEカートリッジ、右側にブラック FINEカートリッジを取り付けます。

⑳ FINEカートリッジ（インクカートリッジ）
プリントヘッドとインクタンクを一体化した交換可能なカートリッジです。

参 考

- FINEカートリッジの取り付け方法は、『かんたんスタートガイド』を参照してください。

重 要

- 図（A）の部分にインクが飛び散ることがありますが、本製品の動作に影響はありません。
- また、図の部分（A）には手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。

操作パネル

❶ **電源ボタン**

電源を入れる／切るときに押します。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。

重　要

電源プラグを抜くときは

- 電源を切ったあと、必ず電源ランプが消灯していることを確認してから電源プラグを抜いてください。電源ランプが点灯／点滅しているときに電源プラグを抜くと、プリントヘッドが保護されないため、その後正しく印刷できなくなることがあります。

❷ **メニューボタン**

トップメニュー画面を表示するときに押します。⇒P.14

❸ **◀▶▲▼ボタン**

メニューや設定の項目を選ぶときに押します。

❹ **OKボタン**

メニュー項目や設定項目を確定するときに押します。⇒P.14

また印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあと、復帰するときにも押します。

❺ **ストップボタン**

印刷中にこのボタンを押すと、印刷を中止します。

❻ **エラーランプ**

用紙やインクがなくなったときなど、エラーが発生したときにオレンジ色に点灯または点滅します。

❼ **電源ランプ**

電源を入れると、緑色に点滅後、点灯します。

❽ **カラースタートボタン**

カラー印刷やカラーコピーをするときに押します。

❾ **モノクロスタートボタン**

白黒コピーをするときなどに押します。

❿ **戻るボタン**

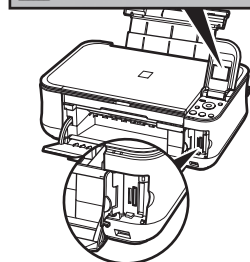
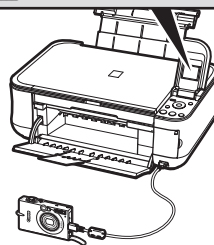
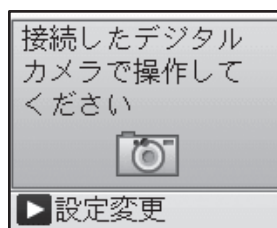
一つ前の画面に戻るときに押します。

液晶モニターの表示

本製品では、パソコンを使用しなくても本製品の操作だけでコピーや印刷が可能です。
本製品の電源を入れると、液晶モニターにコピーモード画面が表示されます。メモリーカードをセットしたり、デジタルカメラなどのPictBridge対応機器を接続すると、それに合わせて自動的に画面が切り替わるので、使いたい機能ですぐに印刷することができます。

コピーモード画面
⇒「コピーしてみよう」(P.25)

PictBridge対応機器
を取り外す
(メモリーカードが
セットされている)

PictBridge対応機器
を接続する

カードモード画面
⇒「メモリーカードから印刷してみよう」
(P.15)

デジタルカメラモード画面
⇒「デジタルカメラや携帯電話などから
直接印刷する」(P.52)

参　考

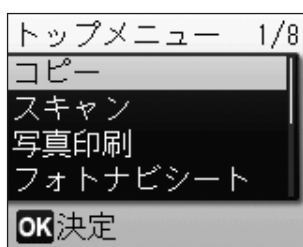
- デジタルカメラなどのPictBridge対応機器を接続すると、メモリーカードがセットされていてもデジタルカメラモード画面が表示されます。

トップメニュー画面を表示してメニューを選ぶ

トップメニュー画面はメニューボタンを押したときに表示される画面です。トップメニュー画面からメニューを選ぶと、定型フォーム印刷やスキャン、本製品のお手入れなどができます。

1 メニューボタンを押す

トップメニュー画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで使いたいメニューを選び、OKボタンを押す

選んだメニューの画面が表示されます。

参　考

- 戻るボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

トップメニュー画面では以下のメニューを選ぶことができます。

コピー：
　印刷する用紙に合わせて拡大／縮小したり、本などをコピーしたときの黒い枠を削除できます。
　⇒「コピーしてみよう」（P.25）

スキャン：
　操作パネルを使ってスキャンしたデータをパソコンに保存したり、セットしてあるメモリーカードやUSBフラッシュメモリーに保存できます。
　⇒「スキャンしてみよう」（P.35）

写真印刷：
　デジタルカメラのメモリーカードに保存されている写真を印刷することができます。
　⇒「メモリーカードから印刷してみよう」（P.15）

フォトナビシート：
　フォトナビシートを使ってメモリーカードに保存されている写真をかんたんに印刷することができます。
　⇒「フォトナビシートを使って印刷する」（P.19）

定型フォーム印刷：
　レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷することができます。
　⇒「レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷してみよう」（P.31）

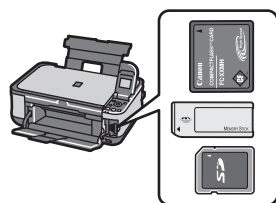
インク残量表示：
　インクの状態を確認できます。
　⇒「FINE カートリッジを交換する」（P.75）

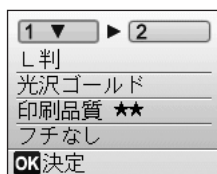
メンテナンス：
　本製品のお手入れをすることができます。
　⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.68）、「給紙ローラをクリーニングする」（P.80）

本体設定：
　本製品の設定を変更することができます。
　⇒「本製品の設定について」（P.53）

メモリーカードから印刷してみよう

デジタルカメラなどで撮影した写真を、本製品の液晶モニターで確認しながら印刷することができます。
メモリーカードに保存されている写真をA4サイズの用紙に一覧で印刷し、その中から選んで印刷する便利な機能もあります。

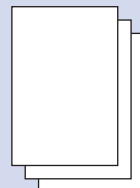
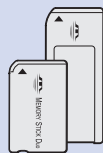
メモリーカードをセットして

写真を選び

印刷の設定をして

印刷すれば

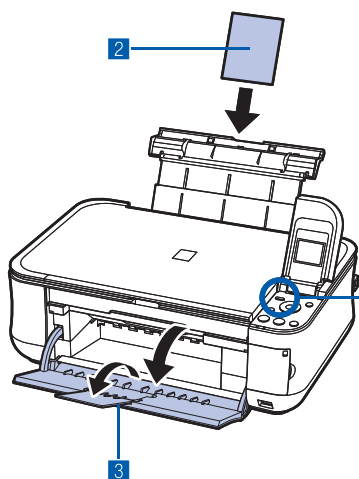
写真の完成！

メモリーカードの写真を印刷する

メモリーカードに保存されている写真を、本製品の液晶モニターで確認しながら印刷してみましょう。
ここでは、L判サイズの用紙に、写真をフチなしで印刷する方法について説明しています。
操作の際は、参照先のページに記載の注意事項と操作方法を確認してください。

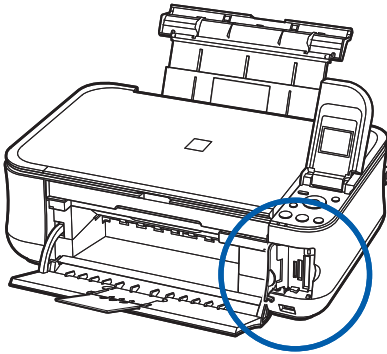
用意するもの

写真の入ったメモリーカード
⇒「メモリーカードをセットする前に」(P.21)

印刷用の用紙
⇒「使用できる用紙について」(P.62)

1 印刷の準備をする

1 電源を入れる⇒P.12
液晶モニターにコピーモード画面が表示されます。
メモリーカードがセットされているときには、カードモード画面が表示されます。

2 用紙をセットする⇒P.58
ここでは、L判サイズの写真用紙をセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

2 メモリーカードをセットする

メモリーカードを、ラベル面を左にしてカードスロットにセットする

本製品にセットできるメモリーカードの種類とセット位置については、「メモリーカードをセットする」（P.22）を参照してください。

カードモード画面が表示されます。

参　考

- トップメニュー画面の［本体設定］で［カード書き込み状態］を［PCから書き込み可能］に設定している場合は、本製品のパネル操作でメモリーカード印刷することはできません。［カード書き込み状態］を［PCから書き込み禁止］に設定してください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

3 印刷を開始する

1 ◀▶ボタンで印刷したい写真を表示する

参　考

- 写真の読み込み中は、液晶モニターに⌛が表示される場合があります。⌛が表示されているときに◀▶ボタンを押すと、画像が正しく選べないことがあります。

2 ▲▼ボタンで印刷枚数を指定する

3 手順1、2を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷枚数を指定する

4 OKボタンを押す

印刷確認画面が表示されます。

5 ▶ボタンを押す

印刷の設定画面が表示されます。

6 用紙のサイズや種類、印刷品質などを確認する

ここでは、用紙サイズに［L判］、用紙の種類にセットした写真用紙が設定されていることを確認してください。

設定内容を変更するには、▲▼ボタンで変更したい項目を選び、◀▶ボタンで設定する項目を選びます。タブを切り替えるには、▲▼ボタンでタブを選んで、◀▶ボタンを押してください。

⇒「設定項目について」（P.18）

7 OKボタンを押す

印刷確認画面に戻ります。

8 印刷に必要な用紙の枚数を確認する

9 カラースタートボタンまたはOKボタンを押す

写真の印刷が開始されます。

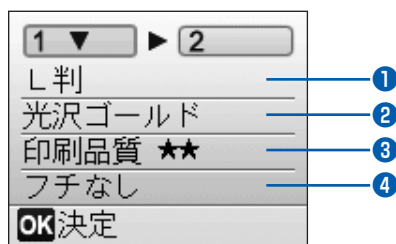
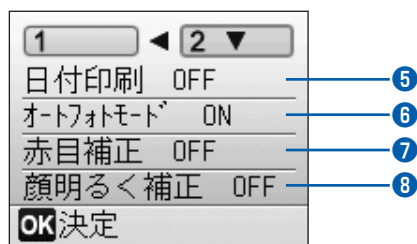
参　考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。
- モノクロスタートボタンを押しても、印刷は開始されません。
- 印刷終了後メモリーカードを取り出すときは、「メモリーカードを取り出す」（P.24）を参照してください。

設定項目について

タブ1：

1 ▼ ▶ 2
L判 ❶
光沢ゴールド ❷
印刷品質 ★★ ❸
フチなし ❹
OK決定

タブ2：

❶ 用紙サイズ　：［L判］や［A4］など、印刷したい用紙のサイズを選びます。

❷ 用紙の種類　：［光沢ゴールド］や［普通紙］など、印刷したい用紙の種類を選びます。

❸ 印刷品質　：［印刷品質★★★］（きれい）または［印刷品質★★］（標準）から、印刷品質を設定できます。

❹ フチあり／フチなし　：フチのあり／なしを設定できます。

参　考

- 用紙の種類を［普通紙］に設定したときには、［フチなし］に設定することはできません。

❺ 日付印刷　：写真に撮影日の日付を付けて印刷するか設定できます。⇒「そのほかの機能を使ってみよう」（P.20）

参　考

- 日付の印刷形式はトップメニュー画面の［本体設定］の［日付表示形式］にしたがって印刷されます。

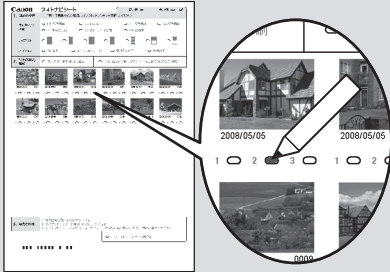
❻ オートフォトモード　：写真の明るさや色合いを自動的に補正するか設定できます。⇒「そのほかの機能を使ってみよう」（P.20）

❼ 赤目補正　：人物の目が赤く写った写真を補正して印刷できます。

❽ 顔明るく補正　：逆光などで暗くなった人物の顔を明るく印刷できます。

参　考

- 用紙のサイズや種類、印刷品質などすべての設定が保存され、電源を入れ直しても次回カードモードで写真を選んだときにその設定が表示されます。
- 機能によっては、組み合わせて設定できない項目があります。

フォトナビシートを使って印刷する

メモリーカードの写真をA4サイズの用紙に一覧形式で印刷し（印刷されたこの用紙を「フォトナビシート」と呼びます）、そのシート上で写真、印刷枚数、用紙サイズなどを選んで印刷することもできます。
トップメニュー画面から［フォトナビシート］→［フォトナビシート印刷］を選んで実行します。操作方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

そのほかの機能を使ってみよう

カードモードで使える便利な機能の一部を紹介します。

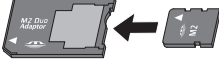
［日付印刷］　［オートフォトモード］

メモリーカードをセットする

メモリーカードをセットする前に

本製品で使用できるメモリーカードと画像データは以下のとおりです。

重　要

- デジタルカメラが動作を保証していないメモリーカードに撮影／保存されている写真は、本製品で読み込めない場合やデータが破損する場合があります。デジタルカメラが動作を保証しているメモリーカードについては、デジタルカメラに付属の取扱説明書を参照してください。
- メモリーカードは、DCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラでフォーマットしてください。パソコン固有のフォーマットには対応していません。

カードスロットに直接セットできるメモリーカード：

	・SD/SDHCメモリーカード ・マルチメディアカード（ver.4.1） ・マルチメディアカードプラス（ver.4.1）
	・コンパクトフラッシュ（CF）カード TYPE Ⅰ /TYPE Ⅱ（3.3V）に対応 ・マイクロドライブ
	・メモリースティック ・メモリースティックPRO ・メモリースティックDuo ・メモリースティックPRO Duo

カードアダプタを使用してセットするメモリーカード：

重　要

- 以下のメモリーカードは、必ず専用のカードアダプタに取り付けてからカードスロットにセットしてください。カードアダプタに取り付けずに直接カードスロットにセットすると、メモリーカードが取り出せなくなる場合があります。そのような場合は「困ったときには」の「メモリーカードが取り出せない」（P.110）を参照してください。

	・miniSD/miniSDHCカード*1
	・microSD/microSDHCカード*1
	・xD-Pictureカード*2 ・xD-Picture カード Type M*2/Type H*2
	・RS-MMC（ver.4.1）*3
	・メモリースティック マイクロ*4

*1　専用の「SDカードアダプタ」を使用してください。
*2　別途xD-Pictureカード用コンパクトフラッシュカードアダプタをお買い求めください。
　推奨xD-Picture Cardアダプタ（2008年2月現在）
　富士フイルム株式会社製　型番：DPC-CF
*3　専用のカードアダプタを使用してください。
*4　専用のDuoサイズアダプタを使用してください。

印刷できる画像データ：

本製品はDCF Ver.1.0/2.0規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21準拠）、TIFF（Exif ver.2.2/2.21準拠）、およびDPOF（Ver1.00準拠）に対応しています。その他の静止画（RAW画像等）や動画は印刷できません。

メモリーカードをセットする

注意

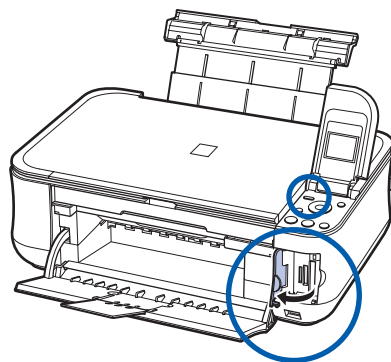
• メモリーカードをカードスロットにセットすると、カードスロットのアクセスランプが点灯します。このアクセスランプが点滅しているときは、メモリーカードの読み込みなどが行われていますので、カードスロットの周りには触れないでください。

参　考

• トップメニュー画面の［本体設定］で［カード書き込み状態］を［PCから書き込み可能］に設定している場合は、本製品のパネル操作でメモリーカードから印刷することはできません。本製品のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして操作したあとは、メモリーカードを抜いてから［カード書き込み状態］を［PCから書き込み禁止］に設定してください。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
• メモリーカードに保存されている写真をパソコンで編集・加工したときは、必ずパソコンから印刷してください。操作パネルから印刷を行うと、正しく印刷できないことがあります。

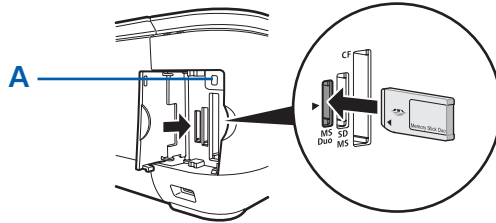
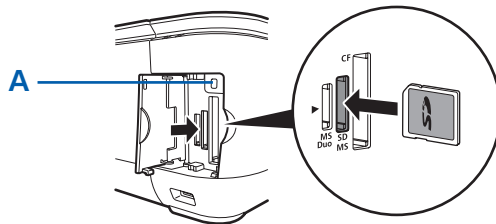
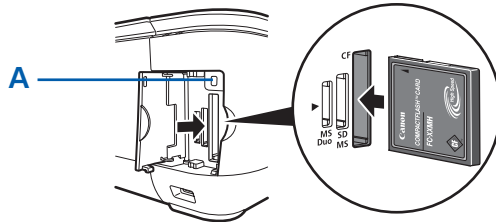
1　メモリーカードを準備する

「メモリーカードをセットする前に」（P.21）を参照して、カードアダプタが必要なメモリーカードは、専用のカードアダプタに取り付けます。

2　電源を入れ、カードスロットカバーを開ける

3 メモリーカードを1枚だけセットする

メモリーカードの種類により、セットする位置が異なります。以下のセット位置を参照しながら、ラベル面を左にしてカードスロットにまっすぐ差し込んでください。
メモリーカードが正しくセットされると、アクセスランプ（A）が点灯します。

下記の＊のメモリーカードはカードアダプタに取り付けてから、カードスロットにセットしてください。

メモリースティックDuo、メモリースティックPRO Duo、メモリースティックマイクロ＊の場合：

SD/SDHCメモリーカード、miniSD/miniSDHCカード＊、microSD/microSDHCカード＊、メモリースティック、メモリースティックPRO、マルチメディアカード（ver.4.1）、マルチメディアカードプラス（ver.4.1）、RS-MMC（ver.4.1）＊の場合：

コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、xD-Pictureカード＊、xD-PictureカードType M/Type H＊の場合：

⚠注意

- メモリーカードがカードスロットから少しはみ出した状態でセットされます。それ以上は無理に押し込まないでください。本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。
- メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、本製品やメモリーカードが破損するおそれがあります。

重　要

- 一度に複数のメモリーカードをセットしないでください。

4 カードスロットカバーを閉じる

メモリーカードを取り出す

重　要

- カードスロットをパソコン用メモリーカードドライブとして使用していた場合は、メモリーカードを本製品から取り出す前にパソコン側での取り出し操作が必要になります。
  －Windowsをご使用の場合は、リムーバブルディスクアイコンを右クリックして［取り出し］を選んで取り出し操作を行ってください。［取り出し］が表示されない場合は、アクセスランプが点灯していることを確認し、カードを取り出してください。
  －Macintoshをご使用の場合は、アイコンをゴミ箱に捨ててください。

1 カードスロットカバーを開ける

2 アクセスランプが点灯していることを確認して、カードを取り出す

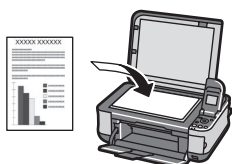
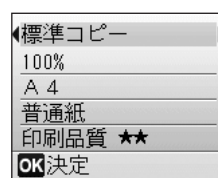
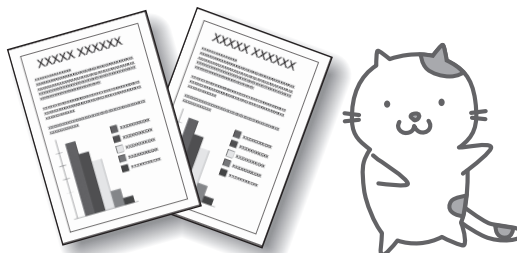
メモリーカードをつまんで、まっすぐ引き出します。

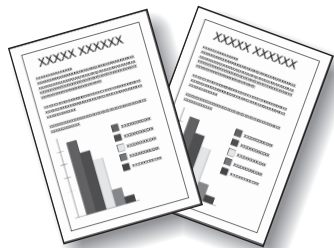
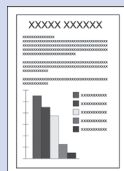
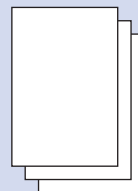
⚠注意

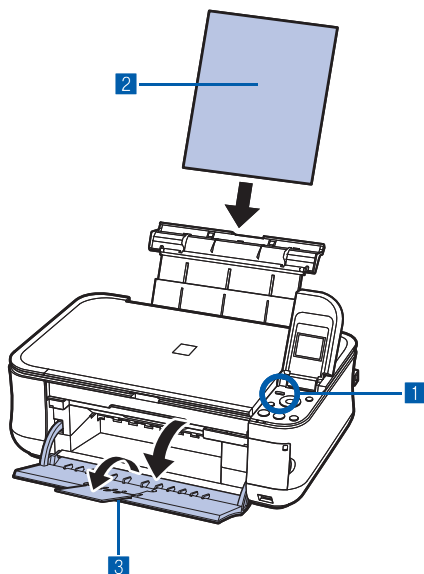
- アクセスランプの点滅中は、メモリーカードを取り出さないでください。ランプが点滅しているときは、メモリーカードからデータを読み込み／書き込みしています。ランプの点滅中にメモリーカードを取り出したり電源を切ったりすると、カードのデータが破損することがあります。

3 カードスロットカバーを閉じる

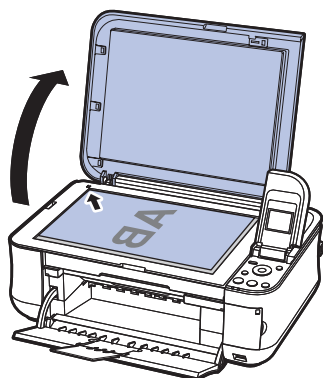
コピーしてみよう

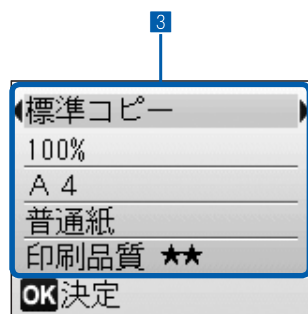
印刷する用紙に合わせた拡大／縮小や、フチなし、本をコピーしたときの黒い枠の削除など、いろいろなコピー方法を選べます。

コピーの完成！

コピーする

ここではA4 サイズの書類を普通紙にコピーする方法について説明します。操作の際は、参照先のページに記載の注意事項と操作方法を確認してください。

用意するもの

コピーしたいもの
⇒「セットできる原稿について」（P.66）

印刷用の用紙
⇒「使用できる用紙について」（P.62）

1 コピーの準備をする

1 電源を入れる⇒P.12
液晶モニターにコピーモード画面が表示されます。
メモリーカードがセットされているときには、カードモード画面が表示されます。メモリーカードを取り出してください。

2 用紙をセットする⇒P.58
ここでは、A4の普通紙をセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 原稿台ガラスに原稿をセットする⇒P.66
コピーしたい面を下にして、図のように原稿位置合わせマーク（↘）に合わせます。

2 コピーを開始する

1 ▲▼ボタンでコピー部数を指定する

2 ▶ボタンを押す

コピーの設定画面が表示されます。

3 コピーの種類や倍率、用紙のサイズ、用紙の種類などを確認する

設定内容を変更するには、▲▼ボタンで変更したい項目を選び、◀▶ボタンを押します。

⇒「設定項目について」(P.28)

参 考

• コピー濃度を原稿に合わせて自動調整するときは、トップメニュー画面の［本体設定］で［コピー自動濃度］を有効に設定してください。

4 OKボタンを押す

コピーモード画面に戻ります。

5 カラーコピーをする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーをする場合はモノクロスタートボタンを押す

コピーが開始されます。

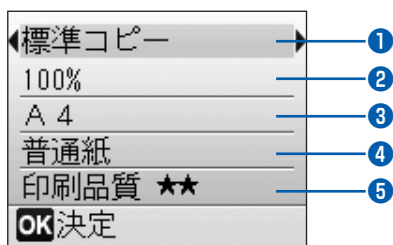
コピー終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

重 要

• コピーが終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットした原稿を動かさないでください。

参 考

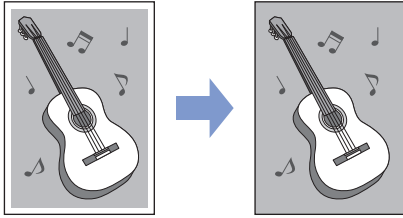
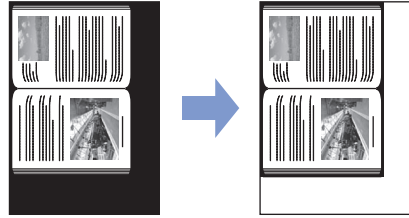
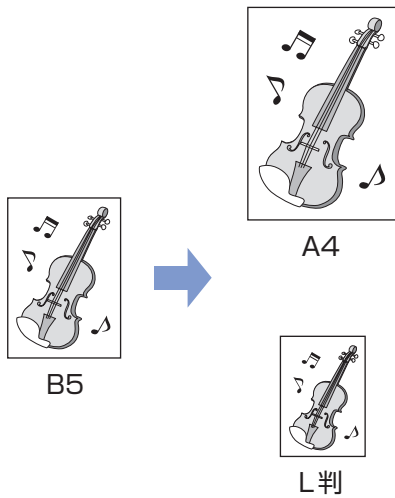
• コピーを中止するときは、ストップボタンを押します。

設定項目について

❶ コピー種類	：	［フチなしコピー］や［枠消しコピー］など、コピーの種類を選びます。→「いろいろなコピー機能を使ってみよう」（P.29）
❷ コピー倍率	：	指定した用紙のサイズに合わせて、自動で拡大／縮小してコピーする［自動変倍］を設定できます。→「いろいろなコピー機能を使ってみよう」（P.29）
❸ 用紙サイズ	：	［A4］や［B5］など、セットした用紙のサイズを選びます。
❹ 用紙の種類	：	［普通紙］や［光沢ゴールド］など、セットした用紙の種類を選びます。
❺ 印刷品質	：	［印刷品質★★★］（きれい）、または［印刷品質★★］（標準）、［印刷品質★］（はやい）から、コピーしたい原稿に合わせて印刷品質を設定します。設定できる印刷品質は、「用紙の種類」で指定した用紙により異なります。

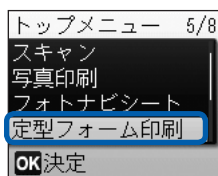
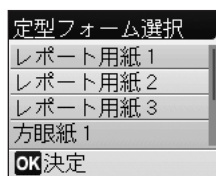
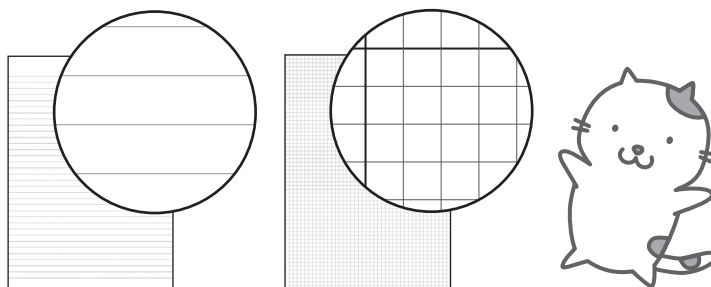
参　考

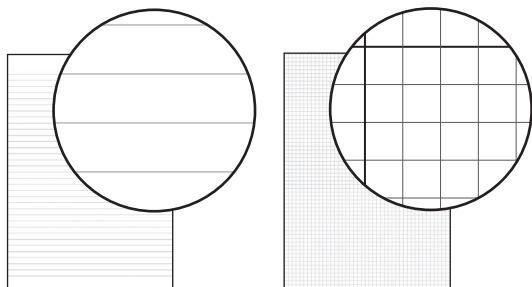
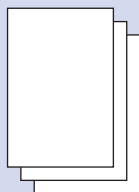
- 用紙のサイズや種類、印刷品質の設定項目は保存され、電源を入れ直しても次回コピーするときにその設定が表示されます。
- 機能によっては、組み合わせて設定できない項目があります。
- コピーの種類を［フチなしコピー］に設定したときには、トップメニュー画面の［本体設定］の［コピーフチはみ出し量］ではみ出し量を設定できます。
- ［印刷品質★］（はやい）は、用紙の種類に［普通紙］を指定した場合のみ設定できます。
- 用紙の種類が［普通紙］の場合で、［印刷品質★］（はやい）を選んで思ったような品質で印刷できないときは、［印刷品質★★］（標準）または［印刷品質★★★］（きれい）を選んで、もう一度印刷してみてください。
- モノクロスタートボタンを押して白黒コピーをするときは、印刷品質を［印刷品質 ★★★］（きれい）に設定すると、グレーの濃淡を数多くの階調で表現して印刷できます（グレースケールコピー）。
- 自動濃度調整の設定ができます。原稿台ガラスにセットした原稿に合わせて自動で濃度を調整して印刷できます。⇒「本製品の設定について」（P.53）

いろいろなコピー機能を使ってみよう

コピーの設定画面で種類や倍率を選ぶと、以下のようにコピーすることができます。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

［フチなしコピー］

［枠消しコピー］

［自動変倍］

レポート用紙や方眼紙などの定型フォームを印刷してみよう

用紙に罫線やマス目を印刷して、レポート用紙や方眼紙などに使うことができます。

レポート用紙を印刷する

ここでは定型フォームを選んで印刷する操作について説明します。

用意するもの

A4またはレターサイズの普通紙→「使用できる用紙について」(P.62)

1 印刷の準備をする

1 電源を入れる⇒ P.12

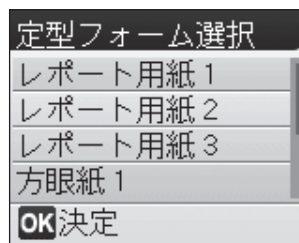
2 A4またはレターサイズの普通紙をセットする⇒ P.58

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

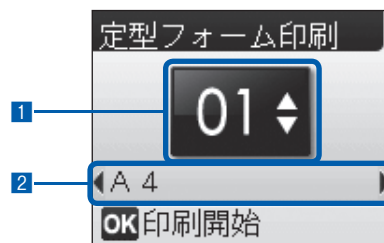
2 定型フォームを選ぶ

1 メニューボタンを押す

2 トップメニュー画面から［定型フォーム印刷］を選び、OKボタンを押す

3 ▲▼ボタンで印刷したいフォームを選び、OKボタンを押す

参考

- 選べる定型フォームについては「いろいろなレイアウトで印刷してみよう」(P.33)を参照してください。

3 印刷を開始する

1 ▲▼ボタンで印刷部数を指定する

2 ◀▶ボタンで用紙サイズを設定する

参考

- 設定できる用紙サイズはA4またはレターサイズです。

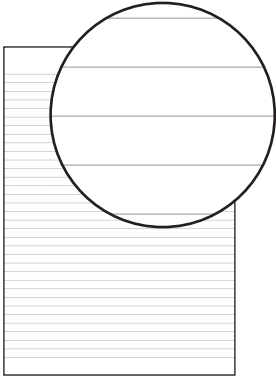
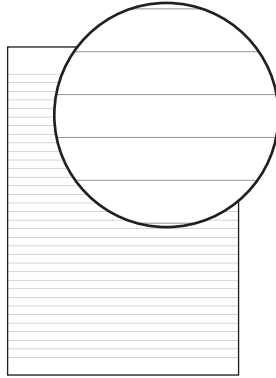
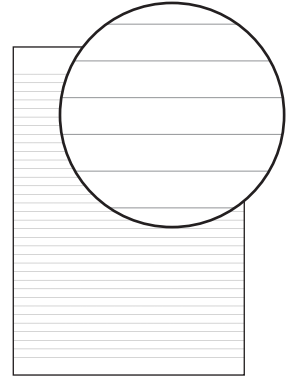
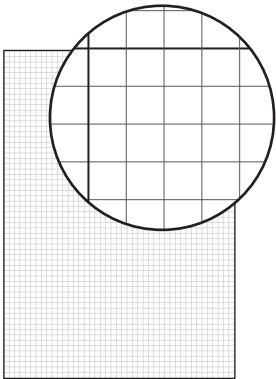
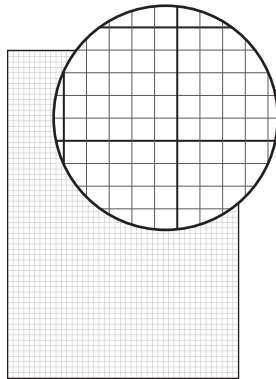
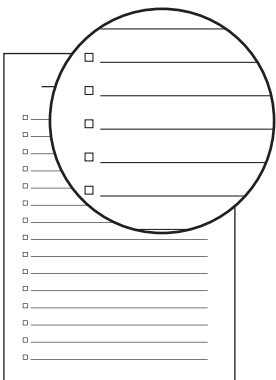
3 OKボタンを押す

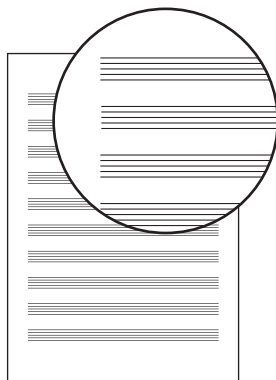
印刷が開始されます。

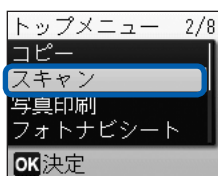
参考

- カラースタートボタンまたはモノクロスタートボタンを押しても印刷できます。

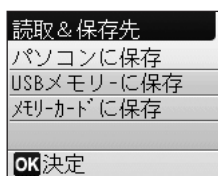
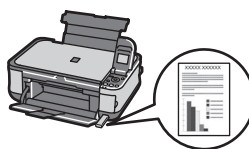
いろいろなレイアウトで印刷してみよう

ここでは定型フォーム印刷で選べるフォームのレイアウトを紹介します。

[レポート用紙 1]
罫線８ mm（U罫）

[レポート用紙 2]
罫線７ mm（A罫）

[レポート用紙 3]
罫線６ mm（B罫）

[方眼紙 1]
方眼５ mm

[方眼紙 2]
方眼３ mm

[チェックリスト]
チェックボックス付リスト

[五線譜]
音楽罫 10段

スキャンしてみよう

スキャンしたデータは、パソコンに転送して付属のアプリケーションソフトを使って編集／加工したり、本製品に取り付けたUSBフラッシュメモリーやメモリーカードに保存することができます。

USBフラッシュメモリーをセットして

原稿をセットして

保存先を選び

スキャンの完成！

スキャンしたデータを保存する

ここでは、本製品の操作パネルを使ってスキャンした文書を、USBフラッシュメモリーにPDFの画像データで保存する方法について説明します。

スキャンしたデータをメモリーカードやパソコンに保存する方法や、パソコンからスキャンする方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

重　要

- USBフラッシュメモリーやメモリーカードに保存したデータは、万一の故障に備えてほかの媒体に定期的に保存することをお勧めします。
- データの破損または消失については、本製品の保障期間内であっても、理由の如何に関わらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

USBフラッシュメモリーに保存する

1 USBフラッシュメモリーの準備をする

1 電源を入れる⇒P.12

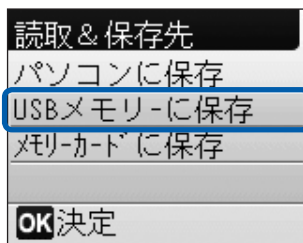
2 USBフラッシュメモリーをカメラ接続部にセットする⇒P.37

2 スキャン操作を選ぶ

1 メニューボタンを押す

2 トップメニュー画面から［スキャン］を選び、OKボタンを押す

3 ▲▼ボタンで［USBメモリーに保存］を選び、OKボタンを押す

読取＆保存先
パソコンに保存
USBメモリーに保存
メモリーカードに保存
OK決定

4 データ形式を選び、OKボタンを押す

ここでは［PDF］を選びます。

3 スキャンを開始する

1 メッセージを確認して、原稿台ガラスに原稿をセットする⇒P.66

参　考

- スキャンできる原稿のサイズは、A4のみです。

2 OKボタンを押して、スキャンしたデータを保存する

「続きを読み取りますか？」の画面が表示されます。

3 ［読取終了］を選び、OKボタンを押す

スキャン終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

参　考

- 続けて複数ページの原稿をスキャンする場合は、［読取続行］を選んでOKボタンを押し、次の原稿をセットしてもう一度OKボタンを押します。すべての原稿をスキャンするまで、この操作を繰り返します。
- PDFで保存する場合は、最大100ページを1ファイルに保存できます。

重　要

- 動作中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。また、動作中に電源を切らないでください。
- スキャンが終わるまで原稿台カバーを開けたり、セットした原稿または写真を動かさないでください。
- スキャンしたデータはUSBフラッシュメモリーのCANON_SCフォルダ内に保存されます。
CANON_SCフォルダ内に保存されたデータは操作パネルからは印刷できません。保存したデータを表示したり、印刷する場合には、USBフラッシュメモリーをパソコンに直接取り付けて操作してください。

参　考

- 保存終了後、USBフラッシュメモリーを取り外します。
⇒「USBフラッシュメモリーを取り外す」（P.37）

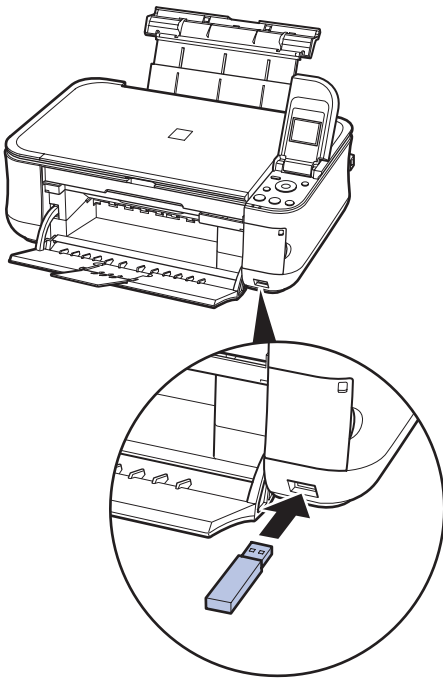
USBフラッシュメモリーをセットする

参　考

USBフラッシュメモリーをセットする前に

- ご使用のUSBフラッシュメモリーが本製品のカメラ接続部に取り付けられない場合は、USBフラッシュメモリー用延長ケーブルが必要なことがあります。電器店にてお買い求めください。
- ご使用のUSBフラッシュメモリーによっては動作の保証ができない場合があります。
- セキュリティ設定がされているUSBフラッシュメモリーは使用できない場合があります。

USBフラッシュメモリーをセットする

以下のイラストを参照しながら、端子の向きに注意してまっすぐ差し込んでください。

USBフラッシュメモリーを取り外す

1 データが読み込み／書き込み中でないことを確認する

液晶モニターで動作が終了しているか確認します。

重　要

- 動作中は、USBフラッシュメモリーを抜かないでください。また、動作中に電源を切らないでください。

参　考

- セットしたUSBフラッシュメモリーにアクセスランプがある場合は、USBフラッシュメモリーの取扱説明書を参照して、データが読み込み／書き込み中でないことを確認してください。

2 USBフラッシュメモリーを取り外す

USBフラッシュメモリーをつまんで、まっすぐに取り外します。

パソコンから印刷してみよう

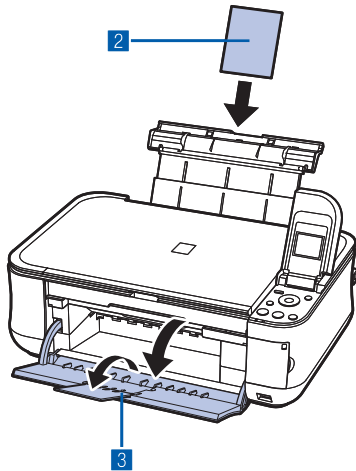
ここでは、文書や写真などをパソコンから印刷する方法について説明しています。
付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使うと、デジタルカメラで撮った写真をかんたんな操作で印刷することができます。

写真を印刷する（Easy-PhotoPrint EXを使う）

付属のソフトウェアEasy-PhotoPrint EX（イージー・フォトプリント・イーエックス）を使って、パソコンに保存されている画像データを印刷してみましょう。
ここでは、L判サイズの写真用紙に、画像をフチなしで印刷する方法について説明します。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参 考

- Windowsの画面を例に説明していますが、Macintoshでも操作方法は同じです。
- Easy-PhotoPrint EXをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Easy-PhotoPrint EX］を選んでインストールします。

1 印刷の準備をする

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.12

2 用紙をセットする⇒P.58

ここでは、L判サイズの写真用紙をセットします。

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

2 Easy-PhotoPrint EXを起動し、［写真印刷］を選ぶ

1 Easy-PhotoPrint EXを起動する

Windows

デスクトップのアイコン をダブルクリックする

Macintosh

［移動］メニューから［アプリケーション］→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint EX］の順に選び、［Easy-PhotoPrint EX］をダブルクリックする

参　考

Windows

- Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、デスクトップ上の をダブルクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.55
- ［スタート］メニューから起動するときは、［スタート］メニューから［(すべての）プログラム］→［Canon Utilities］→［Easy-PhotoPrint EX］→［Easy-PhotoPrint EX］の順に選びます。

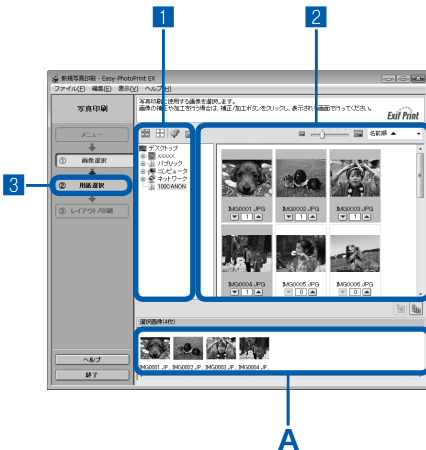
Macintosh

- Solution Menu（ソリューション・メニュー）から起動するときは、Dock内にある をクリックしてSolution Menuを表示し、 をクリックします。⇒P.55

2 ［写真印刷］をクリックする

参　考

- ［写真印刷］のほかにも、「アルバム」や「カレンダー」、「シール」などの印刷もできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EX のいろいろな機能を使ってみよう」（P.43）

3 印刷する写真を選ぶ

1 画像が保存されているフォルダを選ぶ

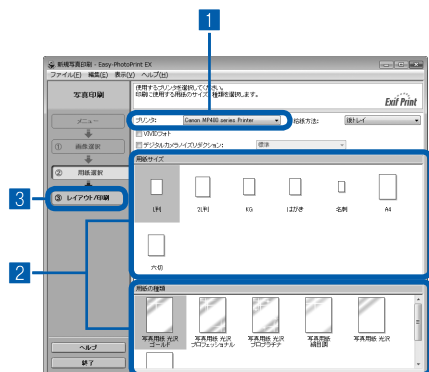
2 印刷する画像をクリックする

枚数が［1］と表示され、［選択画像］エリア（A）に選んだ画像が表示されます。複数の画像を同時に選ぶことができます。

参　考

- 同じ画像を２枚以上印刷したい場合は、▲ボタンをクリックして枚数を変更します。
- 選んだ画像を取り消すには、［選択画像］エリアで取り消したい画像をクリックしてから ボタンをクリックします。▼ボタンで枚数を［0］にしても取り消すことができます。
- 選んだ画像の補正や加工を行うこともできます。
⇒「Easy-PhotoPrint EX のいろいろな機能を使ってみよう」（P.43）

3 ［用紙選択］をクリックする

4 用紙を選ぶ

1 ［プリンタ］にご使用の製品名が表示されていることを確認する

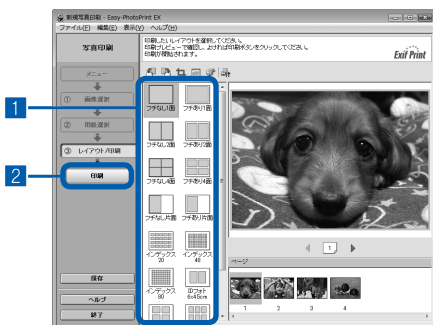
2 ［用紙サイズ］と［用紙の種類］で、印刷したい用紙を選ぶ

ここでは、［用紙サイズ］で［L判］、［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選びます。

参　考

- 用紙の種類を間違えると、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

3 ［レイアウト/印刷］をクリックする

5 レイアウトを選び、印刷する

1 写真のレイアウトを選ぶ

ここでは、［フチなし１面］を選びます。
選んだレイアウトでプレビューが表示され、印刷結果が確認できます。

参　考

- 写真の向きを変更したり、一部分だけを切り抜いて（トリミング）印刷したりすることができます。操作方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

2 ［印刷］をクリックする

参　考

Windows

- 印刷中に本製品のストップボタンを押すか、プリンタ状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。
  プリンタ状態の確認画面は、タスクバー上の［Canon（製品名）Printer］をクリックして表示します。

Macintosh

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。

Easy-PhotoPrint EXのいろいろな機能を使ってみよう

Easy-PhotoPrint EXで使える便利な機能の一部を紹介しています。詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

いろいろなオリジナルアイテムを作成する

撮った写真を活用してアルバムやカレンダーなどを作成することができます。

[アルバム]

[名刺]

[カレンダー]

[シール]

[レイアウト印刷]

画像を補正する

画像に対して自動または手動で、赤目補正や顔くっきり補正、美肌加工、明るさ、コントラストなどの調整や補正/加工を行うことができます。

[明るさ]

文書を印刷する（Windows）

参　考

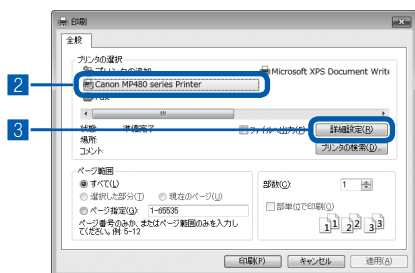
- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 本書ではWindows Vista operating system Ultimate Edition（以降、Windows Vista）をご使用の場合に表示される画面を基本に説明します。

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.12

2 用紙をセットする⇒P.58

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 プリンタドライバの設定画面を開く

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューまたはツールバーから［印刷］を選ぶ

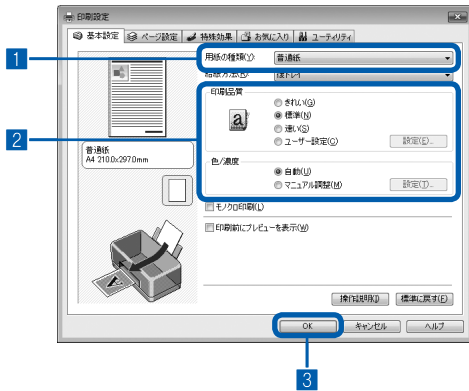
［印刷］ダイアログが表示されます。

2 ご使用の製品名が表示されていることを確認する

参　考

- 別の製品名が選ばれている場合は、ご使用の製品名をクリックしてください。

3 ［詳細設定］（または［プロパティ］）ボタンをクリックする

6 印刷に必要な設定をする

1 ［用紙の種類］で印刷したい用紙の種類を選ぶ

参　考

- 用紙の種類を間違えると、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

2 ［印刷品質］や［色/濃度］で印刷品質などを設定する

参　考

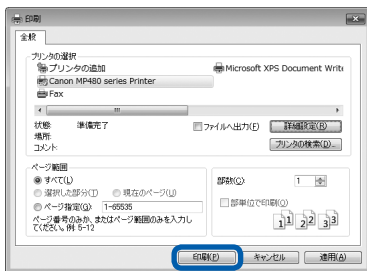
- 印刷設定については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

3 ［OK］ボタンをクリックする

参　考

- 用紙サイズを確認するときは、［ページ設定］タブをクリックします。アプリケーションソフトで設定したサイズと違っている場合は、同じサイズに設定するか、拡大／縮小印刷またはフィットページ印刷を行う必要があります。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- プリンタドライバ機能の設定方法については、［ヘルプ］ボタンや［操作説明］ボタンをクリックして、ヘルプや『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。［操作説明］ボタンは、プリンタドライバの［基本設定］シートおよび［ユーティリティ］シートに表示されます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- ［基本設定］シートで［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。なお、アプリケーションソフトによっては、プレビューを表示できないものもあります。

7 印刷を開始する

［印刷］（または［OK］）ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- ［用紙サイズ］で封筒を指定した場合、印刷時にセット方法についてのメッセージが表示されます。［今後、このメッセージを表示しない。］にチェックマークをつけると、次回からメッセージは表示されなくなります。
- 印刷中に本製品のストップボタンを押すか、プリンタ状態の確認画面の［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。
  プリンタ状態の確認画面は、タスクバー上の［Canon（製品名）Printer］をクリックして表示します。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.73）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

文書を印刷する（Macintosh）

参　考

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作が異なる場合があります。
  詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

Mac OS X v.10.5.xの場合

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.12

2 用紙をセットする⇒P.58

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

5 プリントダイアログを開く

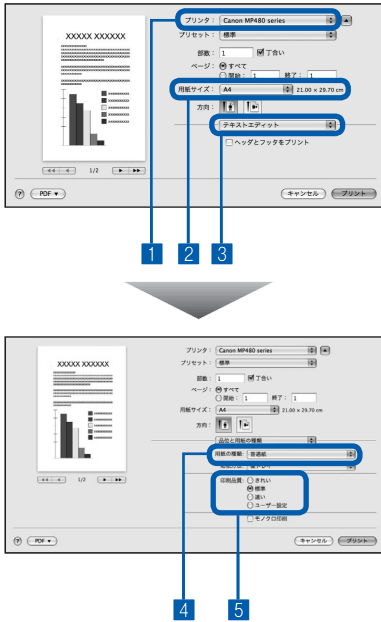
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶと、プリントダイアログが表示されます。

参　考

以下の画面が表示された場合は、▼ボタンをクリックします。

6 印刷に必要な設定をする

1 2 3

4 5

1 ［プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する

2 ［用紙サイズ］から印刷したい用紙のサイズを選ぶ

3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ

4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ

参　考

- 用紙の種類を間違えると、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

5 ［印刷品質］から印刷品質を選ぶ

参　考

- 印刷品質については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［フチなし全面印刷］、または［とじしろ］の?ボタンをクリックして、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、?ボタンをクリックしても『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）は表示されません。
- 左側に表示されるプレビュー画面で印刷結果を確認することができます。アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

7 印刷を開始する

［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［プリンタを一時停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.73）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

Mac OS X v.10.4.xまたはMac OS X v.10.3.9の場合

参　考

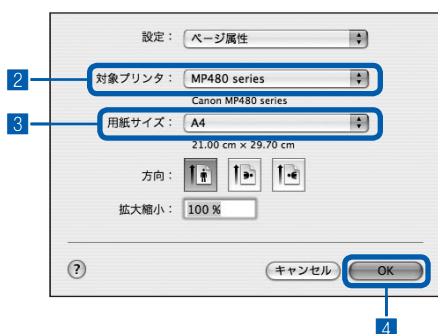
• ここではMac OS X v.10.4.xをご使用の場合に表示される画面を基本に説明しています。

1 本製品の電源が入っていることを確認する⇒P.12

2 用紙をセットする⇒P.58

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 アプリケーションソフトで原稿を作成（または表示）する

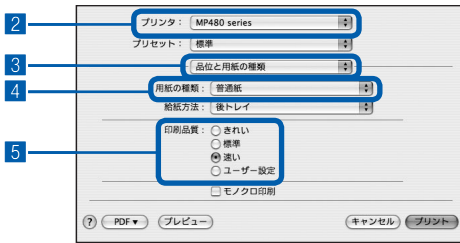
5 用紙サイズを設定する

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

ページ設定ダイアログが表示されます。

2 ［対象プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する

3 ［用紙サイズ］から印刷したい用紙のサイズを選ぶ

4 ［OK］ボタンをクリックする

6 印刷に必要な設定をする

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

プリントダイアログが表示されます。

2 ［プリンタ］でご使用の製品名が表示されていることを確認する

3 ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ

4 ［用紙の種類］でセットした用紙の種類を選ぶ

参　考

- 用紙の種類を間違えると、正しい印刷品位で印刷されない場合があります。

5 ［印刷品質］から印刷品質を選ぶ

参　考

- 印刷品質については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［特殊効果］、［フチなし全面印刷］、または［とじしろ］の?ボタンをクリックして、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、?ボタンをクリックしても『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）は表示されません。
- ［プレビュー］ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。なお、アプリケーションソフトによっては、表示されない場合があります。

7 印刷を開始する

［プリント］ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。

参　考

- Dock内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。
- 印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を一時停止できます。また、［ジョブを停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を一時停止できます。
- 罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、「プリントヘッド位置を調整する」（P.73）を参照してプリントヘッドの位置調整を行ってください。

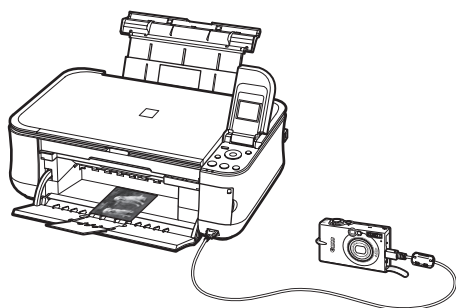
そのほかの使いかた

本製品のそのほかの使いかたとして、本体設定の各機能、デジタルカメラや携帯電話から直接印刷する機能について紹介しています。
また、操作の手助けとなる『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の見かたや、Solution Menu、マイ プリンタについても説明しています。

デジタルカメラや携帯電話などから直接印刷する

PictBridge対応機器を接続して印刷する

本製品とPictBridgeに対応した機器を各社推奨のUSBケーブルで接続すれば、機器内に保存された画像を直接印刷することができます。

対応機器を接続して印刷する方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
また、対応機器での印刷設定方法については、対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。

本製品に接続可能な機器：
PictBridgeに対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず接続可能

参　考

- PictBridgeは、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを介さずに直接プリンタで印刷するための規格です。
- 対応機器にはマークが表示されています。

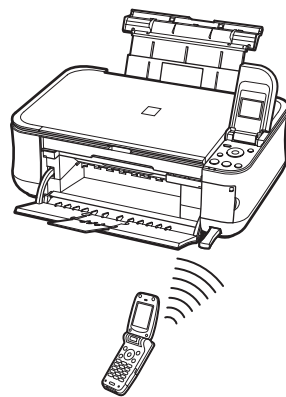
印刷可能な画像データ：
DCF Ver. 1.0/2.0規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21準拠）、またはPNGデータ

参　考

- PictBridge対応機器で印刷する場合は、本製品の操作パネルで印刷品質を設定してください。PictBridge対応機器からは印刷品質の設定は行えません。

ワイヤレスで印刷する

オプションのBluetoothユニットBU-30を使用すると、Bluetooth通信機能がある携帯電話やパソコンからワイヤレスで印刷することができます。

印刷する方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

本製品の設定について

ここでは、トップメニュー画面の［本体設定］から設定／変更できる項目について紹介します。設定／変更方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

コピー自動濃度

原稿台ガラスにセットした原稿に合わせて自動で濃度を調整するように設定します。

用紙のこすれ改善

印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

コピーフチはみ出し量

コピーの種類を［フチなしコピー］に設定したときに、はみ出し量を設定します。

携帯電話印刷設定

ワイヤレス通信対応機器から印刷するときに、用紙やレイアウトなどを設定します。
この設定は、オプションのBluetoothユニットを接続した場合のみ表示されます。

Bluetooth通信設定

機種名やパスキーなどのBluetooth通信の設定を変更できます。
この設定は、オプションのBluetoothユニットを接続した場合のみ表示されます。

PictBridge印刷設定

PictBridge対応機器から印刷するときに、用紙やレイアウトなどを設定します。

日付表示形式

日付印刷のときに、印刷される年月日の並び順を設定します。

カード書き込み状態

本製品のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして使用できるように設定できます。

サイレント設定

夜間など、本製品の動作音（コピー時／メモリーカード印刷時／ PictBridge対応機器からの印刷時／ワイヤレス印刷時など）が気になるときに設定します。

キーリピート

数値を入力するときに、ボタンの長押しで数値がはやく増えたり減ったりするように設定できます。
無効に設定すると、ボタンを長押ししてもボタンを１度しか押していない操作と同様となります。

言語選択

液晶モニターに表示する言語を変更します。

設定リセット

表示する言語、プリントヘッドの位置調整結果以外の設定を、ご購入時の設定に戻すことができます。

『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）について

付属のCD-ROM『セットアップCD-ROM』には、パソコンの画面で見る取扱説明書（電子マニュアル）の『もっと活用ガイド』が収録されています。

『もっと活用ガイド』では、本書には記載されていない使いかたや各種設定のしかた、トラブルが起こったときの対処方法、付属のアプリケーションソフトの使いかたについて説明しています。

本製品の機能を十分に知ってご活用いただくために、『もっと活用ガイド』をご利用ください。

参　考

- 『もっと活用ガイド』をインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［電子マニュアル（取扱説明書）］を選んでインストールします。
- 『もっと活用ガイド』は、Solution Menu（ソリューション・メニュー）から表示することもできます。（P.55）

※画面はWindows Vistaのものです。

『もっと活用ガイド』を表示するには

Windows

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

『もっと活用ガイド』の画面では次のようなことができます。

- 『もっと活用ガイド』をまとめて印刷したり、特定の章や項目だけを印刷したりできます。
- よく見るページを「マイマニュアル」として登録しておくことができます。

Macintosh

デスクトップ上のアイコン をダブルクリックする

Solution Menuとマイ プリンタについて

Solution Menu（ソリューション･メニュー）やマイ プリンタは、パソコンのウィンドウ上のボタンをクリックするだけで、本製品に関する情報をかんたんに表示したり、設定できる便利なソフトウェアです。

Solution Menuからは、本製品に付属のアプリケーションソフトを起動したり、操作方法の説明を表示できます。また、トラブルの対処方法について知ることもできます。

マイ プリンタからは、プリンタドライバの設定画面を表示したり、操作に困ったときに対処方法について知ることもできます。マイ プリンタはMacintoshではご使用になれません。

Solution Menuを表示するには

Windows

デスクトップ上のアイコンをダブルクリックする

Macintosh

Dock内にあるアイコンをクリックする

※画面はWindows Vistaのものです。

使いたい機能のボタンをクリックします。

↓ 起動後は、タイトルバーのボタンをクリックしてサイズを変更できます。

参　考

- Solution Menuをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［Solution Menu］を選んでインストールします。

Windows

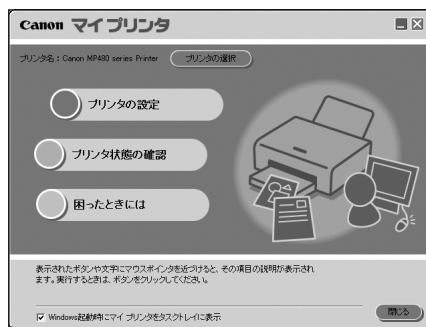
- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［(すべての) プログラム］→［Canon Utilities］→［Solution Menu］→［Solution Menu］の順に選びます。

Macintosh

- メニューバーから起動するときは、［移動］メニューから［アプリケーション］→［Canon Utilities］→［Solution Menu］の順に選び、［Solution Menu］をダブルクリックします。

マイ プリンタを表示するには

Windows

デスクトップ上のアイコンをダブルクリックする

参　考

- マイ プリンタはSolution Menuからも表示することができます。
- マイ プリンタをインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップCD-ROM』で［選んでインストール］から［マイ プリンタ］を選んでインストールします。
- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［(すべての) プログラム］→［Canon Utilities］→［マイ プリンタ］→［マイ プリンタ］の順に選びます。

用紙／原稿をセットする

ここでは、本製品で使用できる用紙／原稿の種類と、印刷する用紙を後トレイにセットする方法、コピーやスキャンする原稿のセット方法について説明しています。

用紙をセットする

用紙をセットする

●普通紙に印刷するときの注意

重　要

- 普通紙をL判、2L判、KGサイズ、名刺の大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

参　考

- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」（P.62）を参照してください。
- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン普通紙・ホワイトSW-101が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口SW-201がお勧めです。
  本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」（P.62）を参照してください。

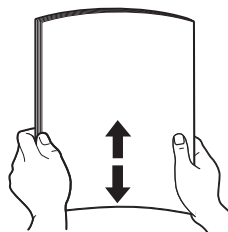
●はがきに印刷するときの注意

重　要

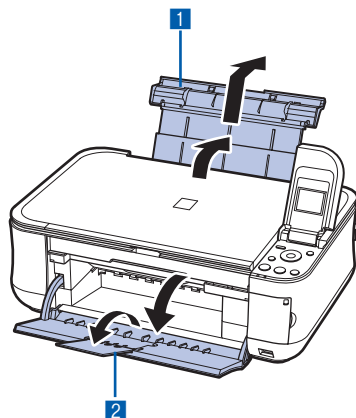
- 普通紙をはがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。
- 通常のはがきや往復はがきは、パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 宛名面はパソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきに印刷するときは、ご使用のアプリケーションソフトおよびプリンタドライバで用紙サイズを必ず「往復はがき」に設定してください。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。

参　考

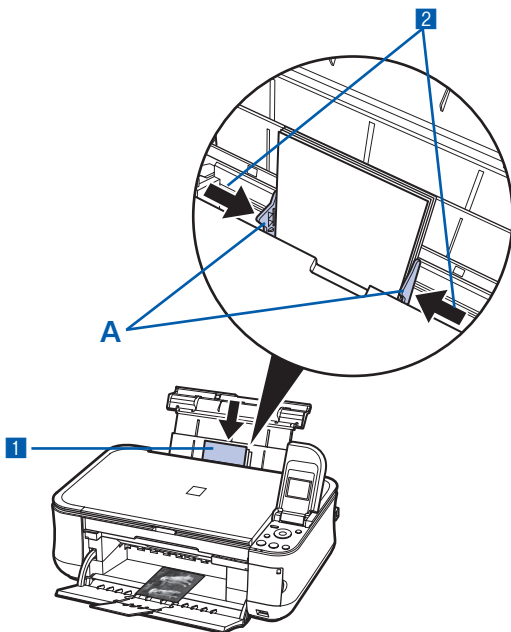
- はがきの両面に1面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとに宛名面を印刷することをお勧めします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷がついたりする場合は、宛名面から印刷すると状態が改善することがあります。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。キヤノン純正紙については、「使用できる用紙について」（P.62）を参照してください。

1 セットする用紙をそろえる

参　考

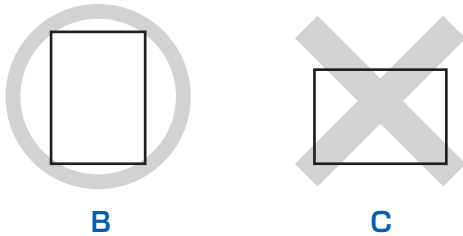
- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「印刷面が汚れる／こすれる」（P.95）を参照してください。

2 用紙をセットする準備をする

1 用紙サポートを開き、上に持ち上げてから奥に傾ける

2 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

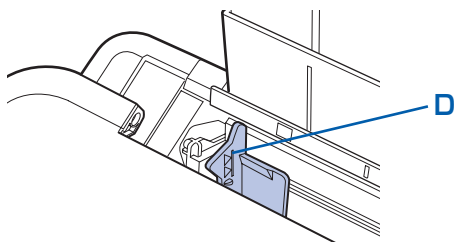
3 用紙をセットする

1 用紙ガイド（A）を広げ、用紙の印刷面を上にして、後トレイの中央にセットする

重　要

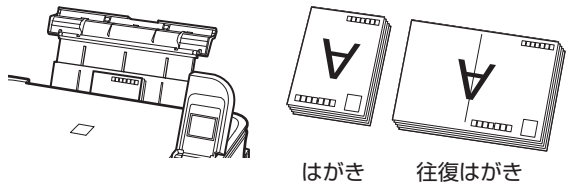
- 用紙は縦方向（B）にセットしてください。横方向（C）にセットすると紙づまりの原因となります。

2 用紙ガイド（A）を動かし、用紙の両端に合わせる

用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

参　考

- （D）の線を超えないようにセットしてください。

はがきの場合：

郵便番号欄を下向きにセットします。用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

参　考

- 給紙するときに、「ガチャッ」と音がする場合があります。これは正常な動作です。

用紙をセットしたら

- パソコンを使わずに本製品を操作してコピーや印刷をする場合は、各モードの設定画面で用紙のサイズと種類を選びます。
  ⇒「メモリーカードから印刷してみよう」（P.15）、「コピーしてみよう」（P.25）
- パソコンから印刷する場合は、プリンタドライバで［用紙サイズ］と［用紙の種類］をセットした用紙に合わせて設定します。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.44）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.46）

封筒をセットする

一般の長形３号／４ 号の封筒と、洋形４号／６号の封筒に印刷できます。
プリンタドライバで適切に設定することにより、宛名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

重　要

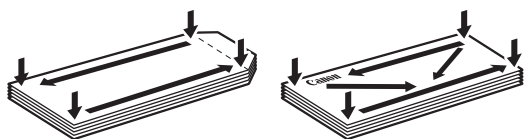
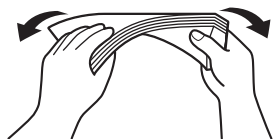
- パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 次のような封筒は使用できません。
  －角形封筒
  －型押しやコーティングなどの加工された封筒
  －ふたが二重（またはシール）になっている封筒
  －ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- Macintoshをご使用の場合は、長形３号／４号の封筒は印刷できません。

参　考

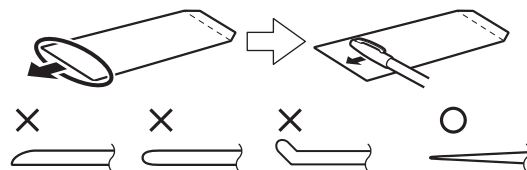
- Windowsをご使用の場合、封筒の印刷時にガイドが表示されます。このガイドを表示させないこともできます。表示させない方法については、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

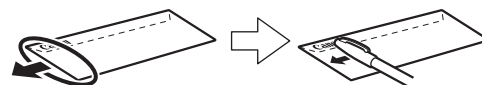
1 封筒の準備をする

● 封筒の四隅と縁を押して平らにします。

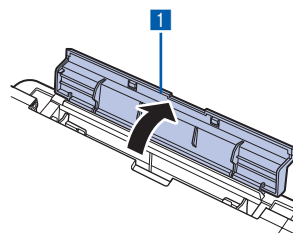
• 長形封筒　　• 洋形封筒

● 封筒が反っている場合は、両手で対角線上の端を持って、逆方向に軽く曲げます。

● 封筒のふた部分が折れ曲がっている場合は平らにします。

● 挿入方向の先端部をペンで押して平らに伸ばします。

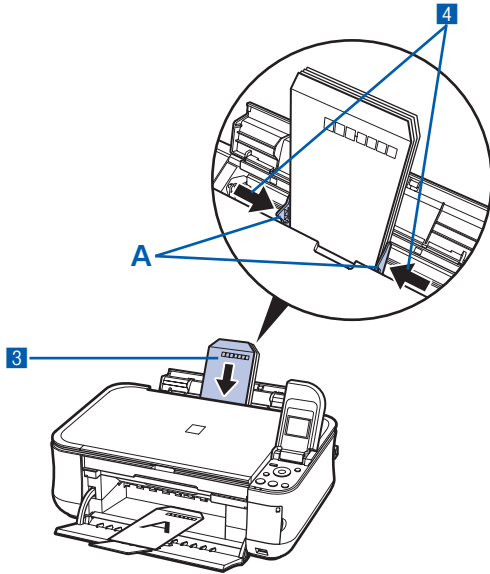
• 長形封筒

上の図は、封筒の先端部の断面図です。

• 洋形封筒

重　要

- 平らになっていなかったり、端がそろっていなかったりすると、紙づまりの原因になることがあります。反りやふくらみが3mmを超えないようにしてください。

2 封筒をセットする

1 用紙サポートを開く

用紙サポートを引き上げないでください。

2 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

3 **用紙ガイド（A）を広げ、<u>封筒の印刷面を上にして</u>、後トレイの中央にセットする**

一度に10枚までセットできます。

4 **用紙ガイド（A）を動かし、封筒の両端に合わせる**

用紙ガイドを強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。

3 プリンタドライバで用紙の設定をする

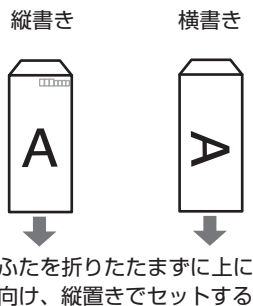
以下のように［用紙の種類］、［用紙サイズ］、［印刷の向き］（［方向］）を設定します。

● 長形封筒（Windowsのみ）

セットのしかた：

縦書き　　横書き

A　　A

ふたを折りたたまずに上に向け、縦置きでセットする

［用紙の種類］　　　　　：封筒
［用紙サイズ］　　　　　：長形3号、長形4号
［印刷の向き］（［方向］）：（縦書きの場合）縦
　　　　　　　　　　　　　（横書きの場合）横

● 洋形封筒

セットのしかた：

横書き

ふたを左側にし、折りたたんだ面を裏にして、縦置きでセットする

縦書き

郵便番号欄を下に向け、ふたを折りたたんだ面を裏にして、縦置きでセットする

［用紙の種類］　　　　　：封筒
［用紙サイズ］　　　　　：洋形4号、洋形6号
［印刷の向き］（［方向］）：（横書きの場合）横
　　　　　　　　　　　　　（縦書きの場合）縦

重　要

- ［用紙サイズ］、［印刷の向き］または［方向］を正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されたり、90度回転して印刷されたりします。

参　考

- 給紙するときに、「ガチャッ」と音がする場合があります。これは正常な動作です。
- Windowsをご使用の場合、印刷結果が上下逆さまになるときは、プリンタドライバの設定画面を開き、［ページ設定］シートの［180度回転］にチェックマークを付けてください。
- プリンタドライバの設定については、以下を参照してください。
  Windowsの場合
  ⇒「文書を印刷する（Windows）」（P.44）
  Macintoshの場合
  ⇒「文書を印刷する（Macintosh）」（P.46）

使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、写真や文書のための用紙はもちろん、シール紙やはがきなど、印刷の楽しさを広げるさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

種類

市販の用紙

用紙の名称＜型番＞*1	後トレイの最大積載枚数	排紙トレイの最大積載枚数	［用紙の種類］の設定	
			操作パネル	プリンタドライバ
普通紙（再生紙を含む）*2	約100枚	約50枚	普通紙	普通紙
はがき／年賀はがき*4	40枚	40枚	—	はがき
インクジェットはがき／ インクジェット紙年賀はがき*3	20枚	40枚	（通信面のみ）IJはがき	（通信面）インクジェットはがき （宛名面）はがき
インクジェット光沢はがき／ 写真用年賀はがき*3	20枚	20枚	（通信面のみ）IJはがき	（通信面）インクジェットはがき （宛名面）はがき
往復はがき*2 *4	40枚	*6	—	はがき
封筒*4	10枚	*6	—	封筒

キヤノン純正紙

用紙の名称＜型番＞*1	後トレイの最大積載枚数	排紙トレイの最大積載枚数	［用紙の種類］の設定	
			操作パネル	プリンタドライバ
書類の印刷に				
カラー普通紙 ＜LC-301＞	約90枚	約50枚	普通紙	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト ＜SW-101＞	約90枚	約50枚	普通紙	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 ＜SW-201＞	約80枚	約50枚	普通紙	普通紙
写真の印刷に				
キヤノン写真用紙・光沢 プロ プラチナ ＜PT-101＞*5	A4、2L判、六切、はがき：10枚 L判、ワイド、KG：20枚	*6	光沢プロプラチナ	写真用紙 光沢プロプラチナ
キヤノン写真用紙・光沢 プロフェッショナル ＜PR-201＞*5			光沢プロ	写真用紙 光沢プロフェッショナル
キヤノン写真用紙・光沢 ＜GP-501＞*5			光沢	写真用紙 光沢
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド ＜GL-101＞*5			光沢ゴールド	写真用紙 光沢ゴールド
キヤノン写真用紙・絹目調 ＜SG-201＞*5			絹目調	写真用紙 絹目調

用紙の名称＜型番＞*1	後トレイの最大積載枚数	排紙トレイの最大積載枚数	[用紙の種類］の設定	
			操作パネル	プリンタドライバ
マットフォトペーパー ＜MP-101＞	A4、2L判、六切、はがき：10枚 L判、ワイド、KG：20枚	*6	マットフォト	マットフォトペーパー
年賀状、挨拶状の印刷に				
ハイグレードコートはがき ＜CH-301＞*3	20枚	40枚	（通信面のみ）IJはがき	（通信面）インクジェットはがき （宛名面）はがき
キヤノン写真はがき・光沢 ＜KH-301＞	20枚	20枚	（通信面のみ）光沢	（通信面）写真用紙 光沢 （宛名面）はがき
フォト光沢ハガキ ＜KH-201N＞*3	20枚	20枚	（通信面のみ）光沢	（通信面）写真用紙 光沢 （宛名面）はがき
プロフェッショナルフォトはがき ＜PH-101＞*3 *5	20枚	20枚	（通信面のみ）光沢プロ	（通信面）写真用紙 光沢プロフェッショナル （宛名面）はがき
ビジネス文書の印刷に				
高品位専用紙 ＜HR-101S＞*5	80枚	50枚	—	高品位専用紙
オリジナルグッズ作りに				
Tシャツ転写紙 ＜TR-301＞*4	1枚	*6	—	Tシャツ転写紙
ピクサスプチシール ＜PS-101＞*4 （16面光沢フォトシール）	1枚		—	写真用紙 光沢
ピクサスプチシール・フリーカット ＜PS-201＞*4	1枚		—	写真用紙 光沢
フォトシールセット ＜PSHRS＞*4 （2面/4面/9面/16面）	1枚		—	写真用紙 光沢
片面光沢名刺用紙 ＜KM-101＞*7	20枚		光沢	写真用紙 光沢
両面マット名刺用紙 ＜MM-101＞*7	20枚		光沢	（写真・イラスト）写真用紙 光沢 （文字）普通紙

*1　＜型番＞のあるものは、キヤノン純正紙です。用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。また、種類によって取り扱っているサイズが異なります。詳しくは、キヤノンピクサスホームページcanon.jp/pixusをご覧ください。

*2　用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を約半分以下に減らしてください。（再生紙は古紙配合率100%の再生紙が使用できます。）

*3　宛名面はパソコンからの印刷にのみ使用できます。

*4　パソコンからの印刷にのみ使用できます。

*5　用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られない場合があります。その場合は、用紙を１枚ずつセットしてください。
*6　にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を排紙トレイから取り出すことをお勧めします。
*7　パソコンからテキストデータを印刷する場合、データは名刺サイズ（55mm×91mm）で作成し、上下左右の余白を5mm程度に設定してください。

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。
Macintoshをご使用の場合、長形３号／４号の封筒は使用できません。

定型：

・Letter 8.5 x 11［レター］（215.9×279.4mm）
・Legal［リーガル］（215.9×355.6mm）
・A5（148.0×210.0mm）
・A4（210.0×297.0mm）
・B5［B5（JIS)］（182.0×257.0mm）
・KG（101.6×152.4mm）
・US 4 x 8（101.6×203.2mm）
・US 5 x 7（127.0×177.8mm）
・六切（203.2×254.0mm）
・L判（89.0×127.0mm）
・2L判（127.0×178.0mm）
・はがき（100.0×148.0mm）
・往復はがき（200.0×148.0mm）
・US Comm. Env. #10［#10封筒］（104.6×241.3mm）
・EUR DL Env.［DL封筒］（110.0×220.0mm）
・長形３号（120.0×235.0mm）
・長形４号（90.0×205.0mm）
・洋形４号（105.0×235.0mm）
・洋形６号（98.0×190.0mm）
・名刺（55.0×91.0mm）
・ワイド101.6 x 180.6mm［ワイド］（101.6×180.6mm）

非定型：

以下の範囲内で用紙サイズを設定することもできます。

- 最小サイズ：　55.0mm×91.0mm
- 最大サイズ：　215.9mm×676.0mm

重さ

64～105g/m^2（キヤノン純正紙以外の普通紙）
この範囲外の重さの用紙（キヤノン純正紙以外）は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。

保管上の注意について

- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ64g/m^2未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外の普通紙で重さ105g/m^2を超えるもの）
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙（はがき／L判など、A5サイズより小さい用紙に印刷する場合）
- 絵はがき
- 一度折りまげた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ステープルや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

コピーやスキャンする原稿をセットする

本製品の原稿台ガラスに原稿をセットする方法について説明します。

重　要

- 原稿をセットしたあと、原稿台カバーをきちんと閉じてコピーやスキャンをしてください。
- パソコンからアプリケーションソフトを使用してスキャンする場合や、本製品のパネル操作で［スキャン］から［パソコンに保存］を選んで、スキャンしたデータをパソコンで使用する場合は、原稿のセット方法が異なります。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

セットできる原稿について

以下の原稿をコピーやスキャンできます。

原稿の種類　　　：• 写真　• 文書（書類、本、雑誌など）
サイズ（幅×長さ）：最大216mm × 297mm

参　考

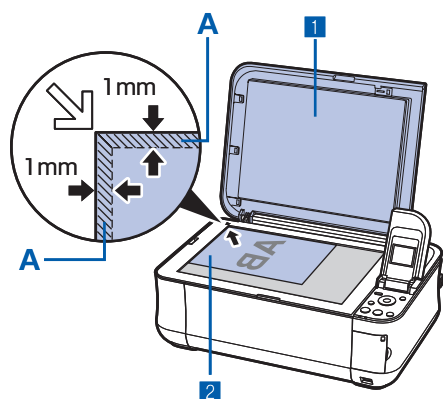
- 分厚い本などをセットする場合は、原稿台カバーを取り外してセットすることができます。原稿台カバーの取り外し／取り付けについて、詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

原稿をセットする

原稿台ガラスにコピーまたはスキャンしたい原稿をセットします。

参　考

- 原稿にのり、インク、修正液などを使ったときは、乾いてから原稿台ガラスにセットしてください。

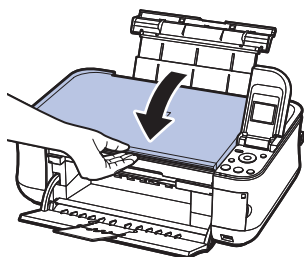
1　原稿を原稿台ガラスにセットする

1 原稿台カバーを開ける

2 コピーまたはスキャンする面を下にして原稿を原稿台ガラスにセットする

原稿のかどを位置合わせのマーク（⇘）に合わせます。

重　要

- 原稿台ガラスに2.0kg以上の物をのせないでください。
- 原稿を強く（2.0kgを超える力で）押さえたり重みをかけないでください。強く押さえすぎるとスキャナが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損するなどの危険があります。
- 原稿台ガラスの端から1mmの部分（A）はコピーやスキャンができません。

2　原稿台カバーをゆっくり閉じる

お手入れ

ここでは、印刷がかすれたときのクリーニングの方法、インクがなくなったときのFINEカートリッジの交換方法、用紙がうまく送られない場合の対処方法などについて説明します。

印刷にかすれやむらがあるときには

印刷結果がかすれたり、色が正しく印刷されないときは、プリントヘッド（FINEカートリッジ）のノズルが目づまりしている可能性があります。以下の手順に沿って、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認し、プリントヘッドのクリーニングを行います。
また、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

⚠注意

- FINEカートリッジを洗浄したり、拭いたりしないでください。FINEカートリッジの故障の原因になります。

参　考

お手入れを行う前に

- FINEカートリッジにインクが残っているか確認してください。⇒P.75
- FINEカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。⇒P.79
- FINEカートリッジの底部を保護しているオレンジ色の保護テープがはがされているか確認してください。
- 液晶モニターにエラーメッセージが表示されている場合は、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.83）
- プリンタドライバの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

印刷がかすれている、むらがある場合：

Step 1
ノズルチェックパターンを印刷する⇒P.69
ノズルチェックパターンを確認する⇒P.70

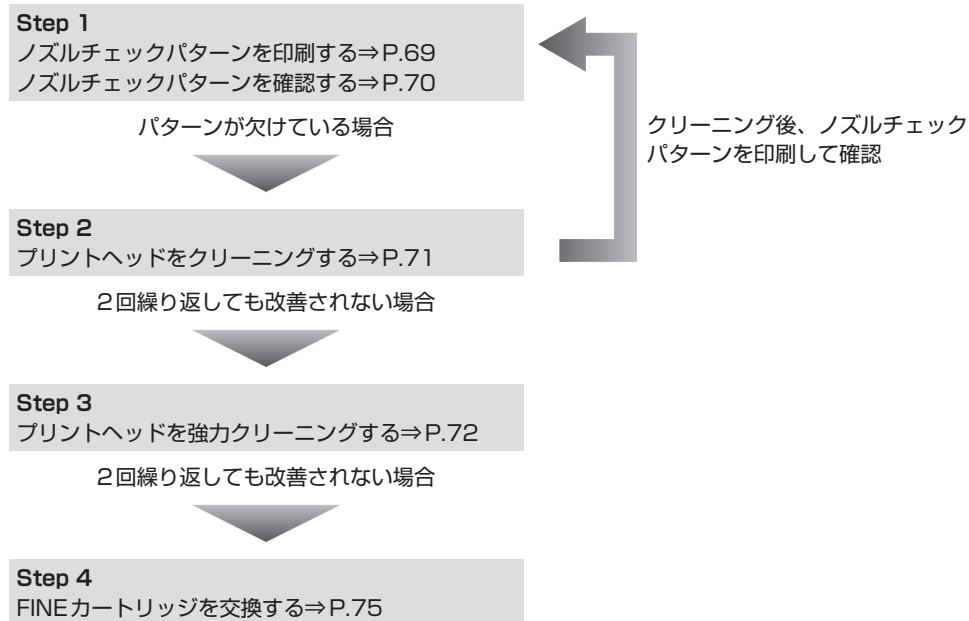
パターンが欠けている場合

Step 2
プリントヘッドをクリーニングする⇒P.71

２回繰り返しても改善されない場合

Step 3
プリントヘッドを強力クリーニングする⇒P.72

２回繰り返しても改善されない場合

Step 4
FINEカートリッジを交換する⇒P.75

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

プリントヘッド位置を調整する⇒P.73

参　考

- お手入れの操作は、パソコンから行うこともできます。詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

参　考

- インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はFINEカートリッジを交換してください。⇒P.76

用意するもの：A4サイズの普通紙１枚

1 電源が入っていることを確認する

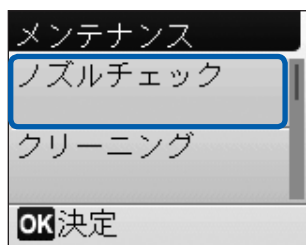
2 後トレイにA4サイズの普通紙を１枚セットする

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 ノズルチェックパターンを印刷する

1 メニューボタンを押す

2 ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す

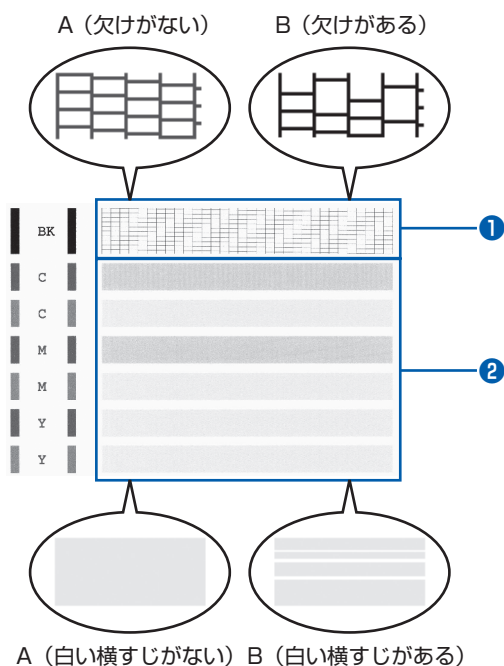
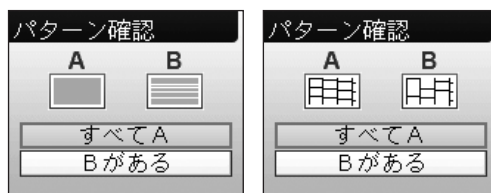
3 ［ノズルチェック］を選び、OKボタンを押す

4 ［はい］を選び、OKボタンを押す
ノズルチェックパターンが印刷されます。

5 メッセージの内容を確認し、OKボタンを押す
液晶モニターに２つのパターン確認画面が表示されます。

5 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.70

ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

1 ❶のパターンに欠けがないか、❷のパターンに白い横すじが入っていないかを確認する

2 パターン確認画面で、印刷されたパターンに近いものを選ぶ

❶ ❷どちらもA（欠け／白い横すじがない）の場合：

［すべてA］を選んでOKボタンを押す

クリーニングの必要はありません。メンテナンス画面に戻ります。

❶または❷、❶と❷にBがある（欠け／白い横すじがある）場合：

1 **［Bがある］を選んでOKボタンを押す**
クリーニングを行います。クリーニング確認画面が表示されます。

2 **［はい］を選んでOKボタンを押す**
プリントヘッドのクリーニングが開始されます。⇒P.71

参　考

• 巻末の「知って得するヒント集」にノズルチェックパターンの良い例、悪い例がカラーで掲載されています。そちらもあわせて参照してください。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙１枚

1 電源が入っていることを確認する

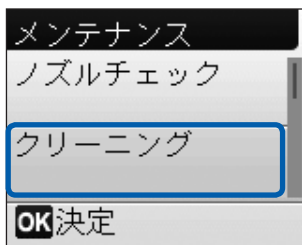
2 後トレイにA4サイズの普通紙を1枚セットする

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 プリントヘッドをクリーニングする

1 メニューボタンを押す

2 [メンテナンス] を選び、OKボタンを押す

3 [クリーニング] を選び、OKボタンを押す

4 [はい] を選び、OKボタンを押す

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約１～２分かかります。

5 [はい] を選び、OKボタンを押す

ノズルチェックパターンが印刷されます。

6 メッセージの内容を確認し、OKボタンを押す

5 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.70

参考

- クリーニングを２回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。⇒P.72

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙1 枚

1 電源が入っていることを確認する

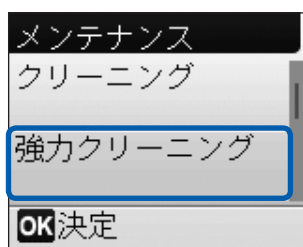
2 後トレイにA4サイズの普通紙を1枚セットする

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 プリントヘッドを強力クリーニングする

1 **メニューボタンを押す**

2 **［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す**

3 **［強力クリーニング］を選び、OKボタンを押す**

4 **［はい］を選び、OKボタンを押す**
プリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。
強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約2分かかります。

5 **［はい］を選び、OKボタンを押す**
ノズルチェックパターンが印刷されます。

6 **メッセージの内容を確認し、OKボタンを押す**

4 ノズルチェックパターンを確認する⇒P.70

改善されない場合は、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、インクがなくなっている可能性があります。新しいFINEカートリッジに交換してください。⇒P.76

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

用意するもの：A4サイズの普通紙2枚

1 電源が入っていることを確認する

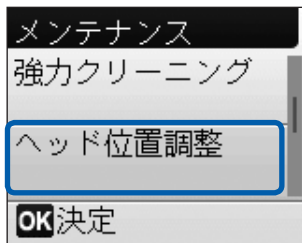
2 後トレイにA4サイズの普通紙を2枚セットする

3 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

4 プリントヘッドの位置調整パターンを印刷する

1 メニューボタンを押す

2 ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す

3 ［ヘッド位置調整］を選び、OKボタンを押す

参考

- トップメニュー画面で［ヘッド位置調整値印刷］を選んでOKボタンを押すと、現在の調整値を印刷できます。→「トップメニュー画面を表示してメニューを選ぶ」（P.14）

4 ［はい］を選び、OKボタンを押す

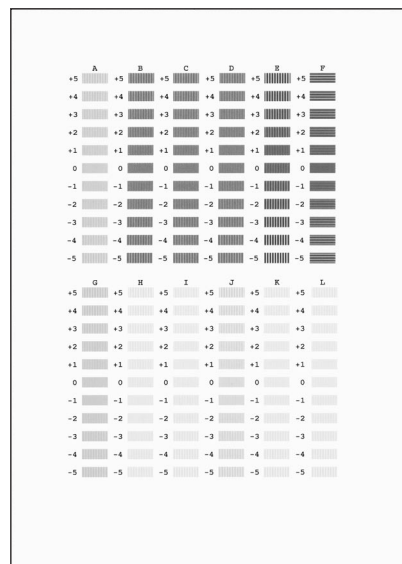
プリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

5 パターンが正常に印刷されていることを確認し、［はい］を選び、OKボタンを押す

6 メッセージの内容を確認し、OKボタンを押す

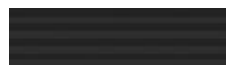
ヘッド位置の調整値を入力する画面が表示されます。

5 プリントヘッドの位置を調整する

1 印刷結果を見て、A列の中から最も縦すじの目立たないパターンの番号を◀▶ボタンで入力する

参考

- 最も良いパターンを選ぶことが難しい場合は、白いすじが最も目立たないものを選んでください。

最も縦すじが目立たない例

縦すじが目立つ例

最も横すじが目立たない例

横すじが目立つ例

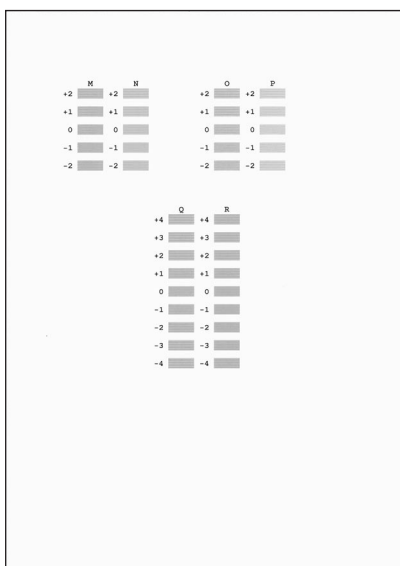
お手入れ

2 B列からL列まで、各列ごとに同様の操作を繰り返し、すべてのパターン番号を入力後、OKボタンを押す

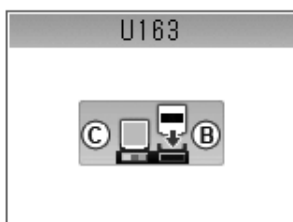
3 メッセージの内容を確認し、[はい]を選び、OKボタンを押す

2枚目のプリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

4 メッセージの内容を確認し、OKボタンを押す

5 印刷結果を見て、M列の中から最もすじの目立たないパターンの番号を◀▶ボタンで入力する

6 N列からR列まで、各列ごとに同様の操作を繰り返し、すべてのパターン番号を設定後、OKボタンを押す

FINE カートリッジを交換する

印刷中にインクがなくなると、液晶モニターやパソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。なくなったインクを確認して、新しいFINE カートリッジに交換してください。

参　考

- エラーメッセージが表示されたら、メッセージの内容を確認して必要な対処をしてください。詳しくは「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」(P.83)を参照してください。
- 本製品で使用できるFINE カートリッジの番号については、本書の裏表紙を参照してください。

インクの状態を確認する

インクの状態は、液晶モニターで確認することができます。

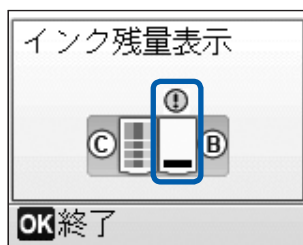
参　考

- 本製品には、インク残量を検知する機能(インク残量検知機能)が搭載されています。新しいFINE カートリッジを取り付けた時点でインクが満杯とみなして残量検知をはじめます。新品でないFINE カートリッジを取り付けた場合はインク残量を正しく表示できない場合がありますので、目安としてご活用ください。

1 電源が入っていることを確認し、メニューボタンを押す

2 [インク残量表示] を選び、OK ボタンを押す

インク残量画面が表示されたら、マークを確認します。

マークが表示されていなければ、印刷するのに十分なインクが残っています。

(!)の付いたインクが少なくなっています。しばらくは印刷を続けられますが、新しいFINE カートリッジのご用意をお勧めします。

参　考

- 印刷中に液晶モニターに表示される画面でも、インクの状態を確認することができます。

交換の操作

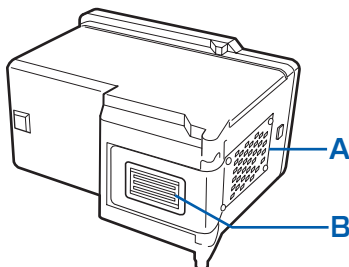
FINE カートリッジのインクがなくなったときは、次の手順で FINE カートリッジを交換します。

⚠注意

- FINE カートリッジに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下や FINE カートリッジの故障の原因となることがあります。非純正インクのご使用はお勧めしません。
- 非純正インクカートリッジまたは非純正インクを使用したことによる不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

重　要

FINE カートリッジの取り扱いについて

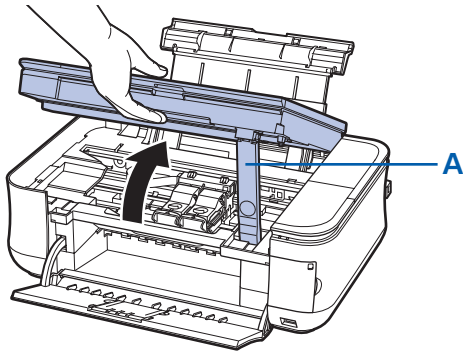
- FINE カートリッジの金色の端子（A）やプリントヘッドノズル（B）には、手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。

- FINE カートリッジの交換はすみやかに行い、FINE カートリッジを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用 FINE カートリッジは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、FINE カートリッジは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後６ヶ月以内に使い切るようにしてください（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）。

参　考

- 片方の FINE カートリッジがインク切れになったときなど、一時的に残っているほうの FINE カートリッジだけで印刷を行うことができます。ただし、両方のカートリッジを使って印刷するときに比べて印刷品質が下がる場合がありますので、優れた印刷結果を得るために新しい FINE カートリッジへの交換をお勧めします。
  なお、ブラックインクまたはカラーインクだけで印刷する場合も、インクの切れたカートリッジを取り付けた状態で印刷してください。カートリッジを取り外した状態では、エラーになり印刷できません。FINE カートリッジの設定について、詳しくは『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。
- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ印刷をするときにも、カラーのインクが使われることがあります。
  また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、両方のインクが使われます。
  インクがなくなった場合は、すみやかに新しい FINE カートリッジに交換してください。

1 電源が入っていることを確認し、排紙トレイをゆっくり手前に開く

2 スキャナユニット（カバー）を持ち上げ、スキャナユニットサポート（A）で固定する

FINEカートリッジホルダが交換位置に移動します。

⚠注意

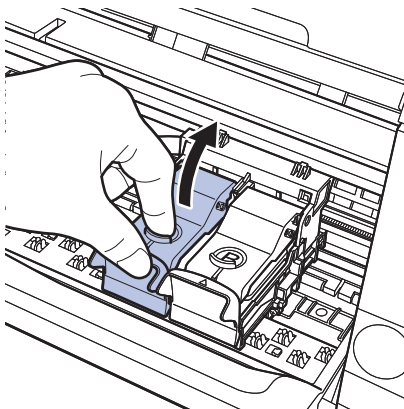
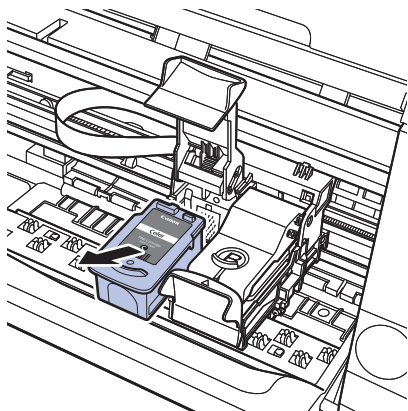
- 本製品の内部はインクで汚れてしまうことがあります。FINEカートリッジを交換するときには、手や衣服などを汚さないようにご注意ください。製品内部のインク汚れは乾いた布などで簡単に拭き取ることができます。清掃の方法について詳しくは、『かんたんスタートガイド』を参照してください。
- 開くときには、原稿台カバーと一緒に持ち上げます。
- FINEカートリッジホルダが動いている間はFINEカートリッジホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。FINEカートリッジホルダの動きが止まるまでは、手を触れないでください。
- 本体内部の金属部分やその他の部分に触れないでください。

重　要

- スキャナユニット（カバー）を10分以上開けたままにすると、FINEカートリッジホルダが右側へ移動します。その場合は、いったんスキャナユニット（カバー）を閉じ、再度開けてください。

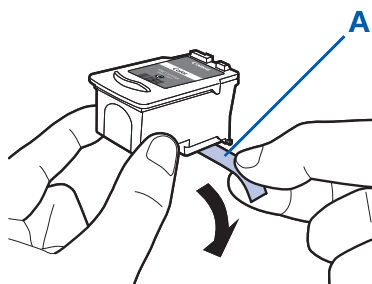
3 インクのなくなったFINEカートリッジを取り外す

1 インクカートリッジ固定カバーをつまんで開く

お手入れ

2 **FINEカートリッジを取り出す**

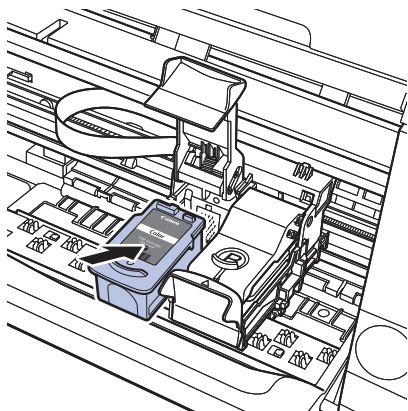
重　要

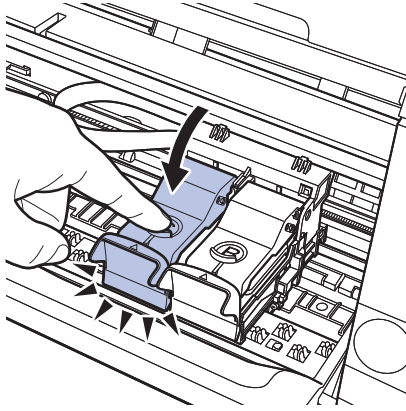
- 衣服や周囲を汚さないよう、FINEカートリッジの取り扱いには注意してください。
- 空になったFINEカートリッジは地域の条例にしたがって処分してください。
- また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。詳しくは「使用済みインクカートリッジ回収のお願い」（P.120）を参照してください。

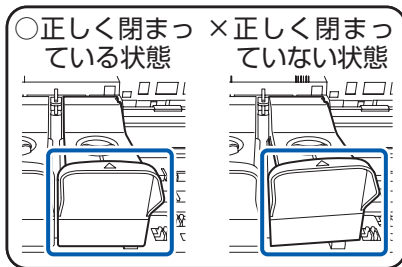
4 FINEカートリッジを準備する

1 **新しいFINEカートリッジをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護テープ（A）をゆっくり取り外す**

重　要

- FINEカートリッジを振るとインクが飛び散り、手や周りのものを汚す恐れがあります。FINEカートリッジの取り扱いには注意してください。
- 取り外した保護テープに付いているインクで、手やまわりのものを汚す恐れがあります。ご注意ください。
- 取り外した保護テープは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって処分してください。
- FINEカートリッジの金色の端子やプリントヘッドノズルには、手を触れないでください。正しく印刷できなくなる場合があります。

5 FINEカートリッジを取り付ける

1 **新しいFINEカートリッジをホルダに置く**

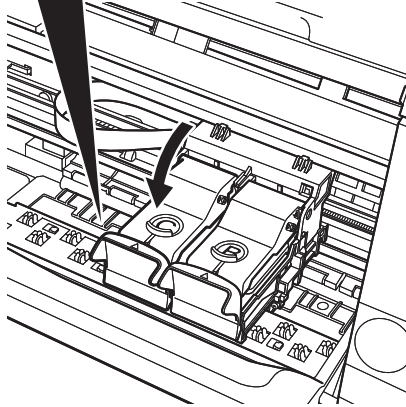
カラーFINEカートリッジは左側のホルダに、ブラックFINEカートリッジは右側のホルダに取り付けます。

2 **インクカートリッジ固定カバーを閉じて、FINEカートリッジを固定する**

インクカートリッジ固定カバーは「カチッ」という音がするまで、しっかり押して固定します。

3 **インクカートリッジ固定カバーが正しく閉まっていることを確認する**

重　要

- カラーカートリッジとブラックカートリッジの両方がセットされていないと印刷できません。必ず、両方のカートリッジをご用意ください。

参　考

- インクカートリッジ固定カバーが正しく閉まっていない場合は、「カチッ」という音がするまでインクカートリッジ固定カバーをしっかり押してください。

6 スキャナユニット（カバー）を持ち上げてスキャナユニットサポートをたたみ、ゆっくり閉じる

⚠注意

- スキャナユニットサポートをたたむときは、スキャナユニット（カバー）をしっかりと持ち、指などをはさまないように注意してください。

参　考

- スキャナユニット（カバー）を閉じたあとに液晶モニターにエラーメッセージが表示された場合は、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.83）を参照してください。
- 次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。クリーニング中は電源ランプが緑色に点滅しますので、終了するまでほかの操作を行わないでください。
- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。⇒P.73

給紙ローラをクリーニングする

給紙ローラに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラのクリーニングを行います。給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4サイズの普通紙３枚

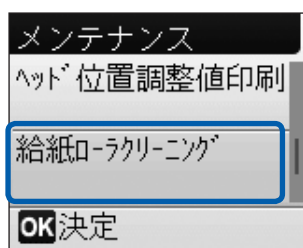
1 電源が入っていることを確認し、後トレイから用紙をすべて取り除く

2 排紙トレイをゆっくり手前に開いてから、補助トレイを開く

3 給紙ローラをクリーニングする

1 メニューボタンを押す

2 ［メンテナンス］を選び、OKボタンを押す

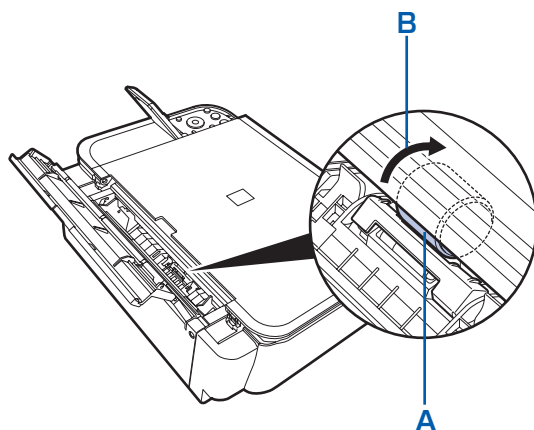
3 ［給紙ローラクリーニング］を選び、OKボタンを押す

4 ［はい］を選び、OKボタンを押す

給紙ローラが回転してクリーニングが開始されます。

4 給紙ローラの回転が停止したことを確認し、後トレイにA4サイズの普通紙３枚をセットする

5 手順３の3から4を３回繰り返す

クリーニング終了後、用紙が排出されます。

上記のクリーニングで改善が見られない場合は、電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜き、湿らせた綿棒などを使って後トレイの中央にある給紙ローラ（A）を矢印の方向（B）に回しながら拭いてください。給紙ローラは指で触らず、綿棒を使って回してください。

上記の操作を行っても改善されない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。⇒P.118

困ったときには

本製品を使用中にトラブルが発生したときは、ここでの対処方法を参照してください。
ここでは発生しやすいトラブルを中心に説明しています。該当するトラブルが見つからないときには、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）をあわせて参照してください。
⇒「『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）について（P.54）」

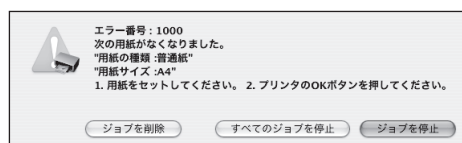
エラーが発生したときは

印刷中に用紙がなくなったり、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すエラーメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法にしたがって操作してください。

Windows

Macintosh

Mac OS X v.10.5.xをご使用の場合

Mac OS X v.10.4.xまたは Mac OS X v.10.3.9をご使用の場合

電源が入らない

チェック 1 **電源ボタンを押してみてください**

チェック 2 **本製品と電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください**

チェック 3 **電源プラグをコンセントから抜き、1分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直してください**

それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.118）

液晶モニターにエラーメッセージが表示されている

液晶モニターにエラー／確認メッセージが表示されたときには、以下の対処方法にしたがってください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
プリントヘッドが装着されていません プリントヘッドを装着してください **U051** **プリントヘッドの種類が違います 正しいプリントヘッドを装着してください** **U052** **インクカートリッジが認識できません** **U053** **U059**	FINEカートリッジが正しく取り付けられていない、または、本製品がサポートできないFINEカートリッジが取り付けられています。 スキャナユニット（カバー）を開けてFINEカートリッジを正しく取り付け直してください。 それでもエラーが解決されないときには、FINEカートリッジが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.118）
正しい位置に取り付けられていないインクカートリッジがあります **U075** **U076**	各色のFINEカートリッジの取り付け位置に、正しいFINEカートリッジがセットされていることを確認してください。 ⇒「FINEカートリッジを交換する」（P.75）
インクカートリッジが認識できません **U140**	本製品がサポートできないFINEカートリッジが取り付けられています。 正しいFINEカートリッジを取り付けてください。 ⇒「FINEカートリッジを交換する」（P.75）
インクカートリッジが認識できません **U150**	FINEカートリッジが正しく取り付けられていません。 スキャナユニット（カバー）を開けてFINEカートリッジを正しく取り付け直してください。 それでもエラーが解決されないときには、FINEカートリッジが故障している可能性があります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.118）
インクがなくなっている可能性があります　インクの交換をお勧めします **U162**	インクがなくなっている可能性があります。 インク残量を正しく検知できないため、インク残量検知機能は使用できなくなります。 この機能を無効にし、インクカートリッジを継続して使用する場合は、本製品のストップボタンを５秒以上押してください。 優れた印刷結果を得るために、新しいキヤノン純正カートリッジへの交換をお勧めします。 インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。 参　考 • インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクカートリッジがグレー色に表示されます。 ⇒「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.75）

エラー／確認メッセージ	対処方法
インクがなくなりました　インクカートリッジを交換してください U163	インクがなくなりました。 インクカートリッジを交換して、スキャナユニット（カバー）を閉じてください。 印刷が完了していない場合は、インクカートリッジを取り付けたまま本製品のストップボタンを５秒以上押すと、インク切れの状態で印刷を続行することができます。 このとき、インク残量検知機能は使用できなくなります。 印刷が終了したらすぐに新しいインクカートリッジに交換してください。インク切れの状態で印刷を続けると、十分な印刷品位が得られなくなります。 参　考 • インク残量検知機能を無効にすると、液晶モニターのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。 ⇒「お手入れ」の「インクの状態を確認する」（P.75）
メモリーカードに写真データがありません	• セットしたメモリーカードに読み込める画像データが保存されていません。 • 画像ファイル名（フォルダ名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。 • パソコン上で編集／加工したデータは、必ずパソコンから印刷を行ってください。
インク吸収体が満杯に近づきました	インク吸収体が満杯に近づいています。 本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、本製品のOKボタンを押すと、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.118）
インク吸収体の交換が必要です	インク吸収体が満杯になりました。 本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、交換が必要です。お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.118）
タイムアウトエラーが発生しました	コピー中に何らかのエラーが発生し、一定の時間が経ちました。 本製品のOKボタンを押してエラーを解除し、もう一度コピーをやり直してください。

エラー／確認メッセージ	対処方法
対応していない機器が接続されました 取り外してください	• カメラ接続部に接続している機器を確認してください。本製品と接続して直接印刷できるのは、PictBridge対応機器またはBluetoothユニットBU-30（オプション）です。 • 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できないことがあります。接続しているUSBケーブルを抜き、再度USB ケーブルを接続してください。 PictBridge対応機器から印刷する場合、ご使用のカメラの機種により、接続する前にPictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。 それでもエラーが解決されないときは、ほかの写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。
対応していないUSBハブが接続されました　取り外してください	本製品のカメラ接続部にUSBハブを接続している場合は、USBハブを本製品から取り外してください。PictBridge対応機器は直接本製品に接続してください。
B200 プリンタトラブルが発生しました 使用説明書を参照してください	本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。 お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.118）
****** プリンタトラブルが発生しました 電源を入れ直してください 解決しないときは、取扱説明書を参照してください**	「****」部分は半角英数字で表示され、状況により表示が異なります。 • 「5100/5110」と表示された場合 印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、FINEカートリッジホルダの保護材やつまった用紙など、FINEカートリッジホルダの動きを妨げているものを取り除いてください。 ⚠注意 • このとき、内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印刷結果不具合などの原因になります。 本製品の電源を入れ直してみてください。 それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.118） • それ以外の表示の場合 本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。 本製品の電源を入れ直してみてください。 それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。 ⇒「お問い合わせの前に」（P.118）

液晶モニターの表示が消えている

電源ランプが消えているとき：

電源が入っていません。電源コードが接続されていることを確認し、電源を入れてください。

電源ランプが点灯しているとき：

液晶モニターが自動消灯しています。操作パネルの電源ボタン以外のボタンを押してください。

日本語以外の言語が表示されている

次の手順で、日本語の設定に戻してください。

1　メニューボタンを押して５秒以上待つ

2　▼ボタンを７回押し、OK ボタンを押す

3　▼ボタンを８回押し、OK ボタンを押す

Bluetooth ユニットを取り付けているときは、▼ボタンを 10 回押してから、OK ボタンを押してください。

4　▲▼ボタンで［日本語］を選び、OK ボタンを押す

MP ドライバがインストールできない

『セットアップCD-ROM』をDVD/CD-ROMドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：

Windows

次の手順にしたがってインストールを開始してください。

1 ［スタート］メニューから［コンピュータ］を開く

【Windows XP】［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］を開く

【Windows 2000】デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする

2 開いたウィンドウにある［CD-ROM］アイコンをダブルクリックする

CD-ROMの内容が表示された場合は、［MSETUP4.EXE］をダブルクリックしてください。

Macintosh

画面上に表示された［CD-ROM］アイコンをダブルクリックする

参 考

- CD-ROMのアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
  －CD-ROMをパソコンから取り出して、再度セットする
  －パソコンを再起動する
- それでも［CD-ROM］アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかのCD-ROMを表示できるか確認してください。ほかのCD-ROMが表示できる場合は、『セットアップCD-ROM』に異常があります。キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。
  ⇒「お問い合わせの前に」（P.118）

［プリンタの接続］画面で止まってしまうとき：

［プリンタの接続］画面から先に進めなくなった場合は、本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認し、次の手順にしたがってインストールをやり直してください。

参　考

- Windows Vistaをご使用の場合、ご使用のパソコンによっては、[プリンタを認識していません。接続を確認してください。]というメッセージが表示されることがあります。その場合は、しばらくお待ちください。しばらく待っても先に進めない場合は、次の操作にしたがってインストールをやり直してください。

1 [キャンセル]ボタンをクリックする
2 [インストール失敗]画面で[もう一度]ボタンをクリックする
3 表示された画面で[戻る]ボタンをクリックする
4 [PIXUS XXX]画面(「XXX」は機種名)で[終了]ボタンをクリックし、『セットアップCD-ROM』を取り出す
5 本製品の電源を切る
6 パソコンを再起動する
7 ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する
8 『かんたんスタートガイド』に記載されている手順にしたがって、MPドライバをインストールする

それ以外のとき：

『かんたんスタートガイド』に記載されている手順にしたがい、MPドライバをインストールし直してください。
MPドライバが正しくインストールされなかった場合は、MPドライバを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、MPドライバを再インストールしてください。
⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「不要になったMPドライバを削除する」
MPドライバを再インストールする場合は『セットアップCD-ROM』から[選んでインストール]を選んでインストールしてください。

参　考

- Windowsのエラーが原因でインストーラが強制終了した場合は、Windowsが不安定になっている可能性があり、MPドライバがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

印刷・スキャン速度が遅い／Hi-Speed USBとして動作しない／Windows「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される

Hi-Speed USBに対応していない環境では、USB 1.1での接続となります。この場合、本製品は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷速度が遅くなることがあります。

チェック　ご使用の環境がHi-Speed USBに対応しているか、次の点を確認してください

- パソコンのUSBポートは、Hi-Speed USBに対応していますか。
- USBケーブルとUSBハブは、Hi-Speed USBに対応していますか。
  USBケーブルは、かならずHi-Speed USB認証ケーブルをご使用ください。また、長さ3m以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンは、Hi-Speed USBに対応した状態ですか。
  最新のアップデートを入手して、インストールしてください。
- Hi-Speed USB対応のUSBドライバが正しく動作していますか。
  Hi-Speed USBに対応した最新のHi-Speed USBドライバを入手して、再インストールしてください。

重　要

- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USBケーブル、USBハブのメーカーにご確認ください。

コピー／印刷結果に満足できない

白いすじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

チェック 1　セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。
写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくないことがあります。
また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。
フチなし全面印刷を行う場合、セットした用紙と設定の組み合わせによっては、発色の差が発生する場合があります。
用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

本製品の操作でコピーをする場合	本製品の操作パネル ⇒「設定項目について（P.28）」、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「コピーする」の「設定項目について」
本製品の操作でメモリーカードから印刷する場合	本製品の操作パネル ⇒「設定項目について（P.18）」、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「メモリーカードの写真を印刷する」の「設定項目について」

PictBridge対応機器から印刷する場合	PictBridge対応機器 ⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「PictBridge対応機器から印刷する」 本製品の操作パネル ⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「本製品の操作パネルで設定を変更する」
ワイヤレス通信対応機器から印刷する場合	本製品の操作パネル ⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「本製品の操作パネルで設定を変更する」
パソコンから印刷する場合	プリンタドライバ ⇒『もっと活用ガイド』(電子マニュアル)の「かんたんな設定で印刷を行う」

チェック 2　チェック 1 の表を参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

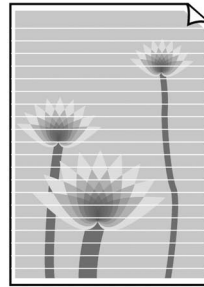
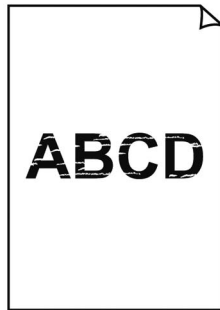
参　考

- PictBridge対応機器から印刷する場合は、本製品の操作パネルで印刷品質を設定してください。PictBridge対応機器からは印刷品質の設定はできません。
- ワイヤレス通信対応機器から印刷する場合は、印刷品質の設定はできません。

チェック 3　それでも解決しない場合は、ほかの原因が考えられます

以下の項目もあわせて確認してください。

⇒白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る（P.91）
⇒色味がおかしい（P.92）
⇒罫線がずれる（P.94）
⇒インクがにじむ／用紙が反る（P.94）
⇒印刷面が汚れる／こすれる（P.95）
⇒用紙の裏面が汚れる（P.98）
⇒色むらや色すじがある（P.99）

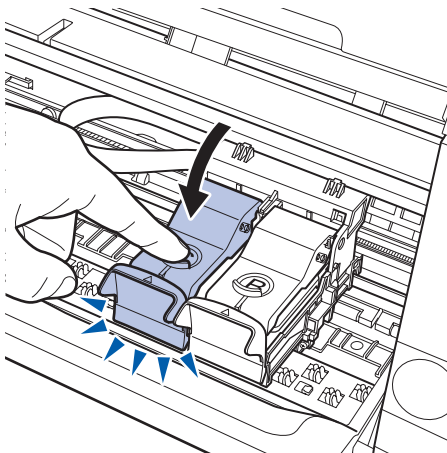
白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじが入る

チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.89）

チェック 2　FINE カートリッジは正しく取り付けられていますか

インクカートリッジ固定カバーが正しく閉じられていないと、正常にインクが出ない場合があります。

スキャナユニット（カバー）を開け、インクカートリッジ固定カバーを取り外し、取り付け直してください。

インクカートリッジ固定カバーは「カチッ」という音がするまで、しっかり押して閉じてください。

チェック 3 **ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.68）を参照してください。

チェック 4 **インクがなくなっている場合は、新しいFINEカートリッジに交換してください**

チェック 5 **片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください**

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。
用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

コピーしているときは以下の項目もチェックしてみてください：

チェック 6 **原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていることを確認してください**

⇒「コピーやスキャンする原稿をセットする」（P.66）

チェック 7 **原稿はコピーする面を下にしてセットしましたか**

チェック 8 **本製品で印刷したものをコピーしていませんか**

メモリーカードまたはデジタルカメラから直接印刷するか、パソコンから印刷し直してください。
本製品で印刷したものをコピーすると、きれいに印刷されないことがあります。

色味がおかしい

チェック 1 **色補正を行ってください**

写真またはイラストを印刷する場合、色補正を設定することで発色が良くなることがあります。

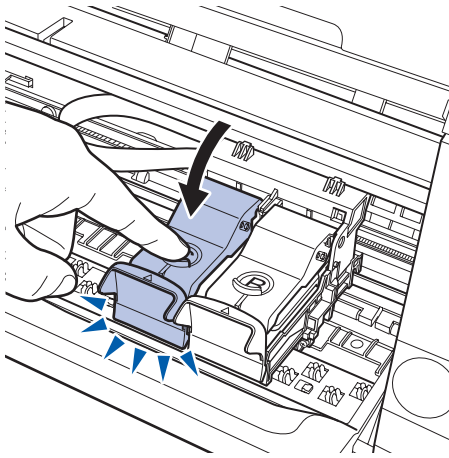
Windows

プリンタドライバの［特殊効果］シートの［VIVID フォト］にチェックマークを付けてください。

Macintosh

プリントダイアログのポップアップメニューから［カラーオプション］を選び、［カラーモード］で［VIVID フォト］を選んでください。
CUPS ドライバ以外をご使用の場合は、プリントダイアログのポップアップメニューから［特殊効果］を選び、［VIVID フォト］にチェックマークを付けてください。

チェック 2　FINEカートリッジは正しく取り付けられていますか

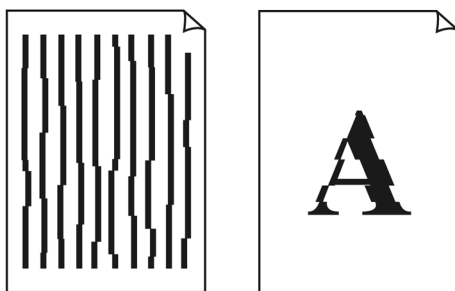
インクカートリッジ固定カバーが正しく閉じられていないと、正常にインクが出ない場合があります。
スキャナユニット（カバー）を開け、インクカートリッジ固定カバーを取り外し、取り付け直してください。
インクカートリッジ固定カバーは「カチッ」という音がするまで、しっかり押して閉じてください。

チェック 3　インクがなくなっている場合は、新しいFINEカートリッジに交換してください

チェック 4　ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.68）を参照してください。

参　考

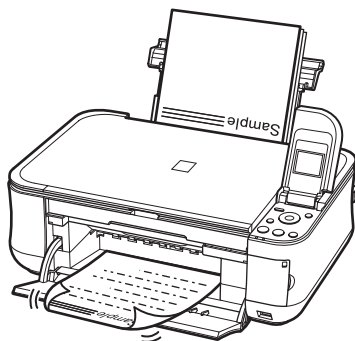
- ディスプレイと本製品では発色方法が異なるため、印刷の色合いが画面上の色合いと異なる場合があります。また、ディスプレイを見ている環境や色の調整によっても発色が異なります。そのため、印刷結果は同じ色合いにならないことがあります。

罫線がずれる

チェック 1 **用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.89）

チェック 2 **プリントヘッドの位置調整を行ってください**

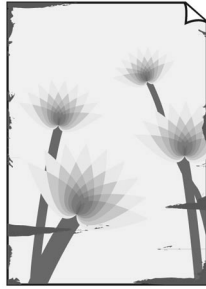
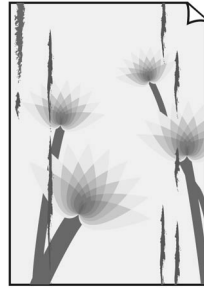
プリントヘッドの取り付け位置がずれていると、罫線がずれて印刷される場合があります。
⇒「お手入れ」の「プリントヘッド位置を調整する」（P.73）

インクがにじむ／用紙が反る

チェック 1 **用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.89）

チェック 2 **写真を印刷するとき、写真専用紙を使用していますか**

写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷には、キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドなどの写真専用紙を使用することをお勧めします。
⇒「用紙／原稿をセットする」の「使用できる用紙について」（P.62）

印刷面が汚れる／こすれる

用紙の端が汚れる

用紙の端以外が汚れる

チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.89）

チェック 2　適切な用紙を使用していますか、次のことを確認してください

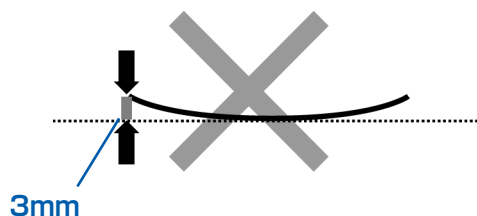
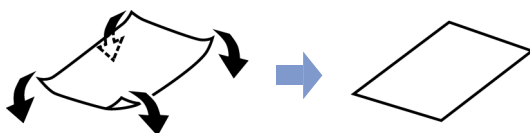
- ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。
  ⇒「用紙／原稿をセットする」の「使用できる用紙について」（P.62）
- フチなし全面印刷を行っている場合は、ご使用の用紙がフチなし全面印刷に適した用紙か確認してください。
  フチなし全面印刷に適さない用紙を使用すると、用紙の上端および下端の印刷品質が低下する場合があります。
  ⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷できる範囲」

チェック 3　反りのある用紙は、反りを直してから使用してください

普通紙の場合：

用紙の裏表を逆にしてセットしてください。
後トレイに用紙を長期間セットしたままにしていると、若干反りがついてしまうことがあります。この場合、裏表を逆にしてセットすると、改善されることがあります。
なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

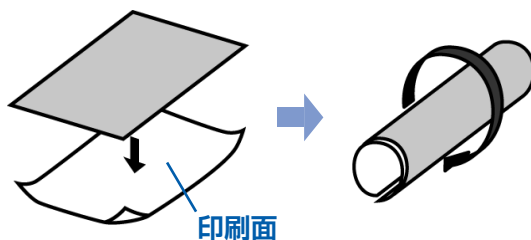
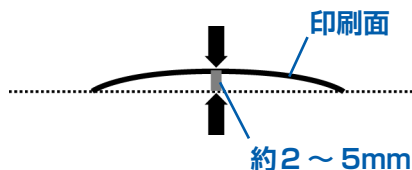
はがきの場合：

用紙の四隅が3mm以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。

1　下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める

2　印刷する用紙が、平らになっていることを確認する

反りを修正した用紙は、１枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
四隅や印刷面全体に反りのある用紙を使用した場合、用紙が汚れたり、うまく送られないことがあります。次の手順で反りを修正してから使用してください。

その他の用紙の場合：

1　印刷面を上にし、表面が汚れたり傷つくことを防ぐために、印刷しない普通紙などを１枚重ねる

2　下の図のように反りと逆方向に丸める

3　印刷する用紙の反りが、約２～5mm以内になっていることを確認する

反りを直した用紙は、１枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参　考

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、上記の手順にしたがって、印刷する前にあらかじめ用紙を反らせてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。

チェック 4　厚めの用紙を使用している場合は、用紙のこすれを改善する設定にしてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、本製品の操作パネルかプリンタドライバで用紙のこすれを改善する設定にしてください。
用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。
* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

本製品の操作パネルで設定する場合：

メニューボタンを押してから［本体設定］を選び、［用紙のこすれ改善］を［有効］に設定してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「本製品の操作パネルで設定を変更する」

プリンタドライバで設定する場合：

Windows

プリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。
プリンタドライバの設定画面の開きかたについては『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「プリンタドライバの開きかた（Windows）」を参照してください。

Macintosh

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンタ・ユーティリティ）のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［送信］ボタンをクリックしてください。
Canon IJ Printer Utilityの開きかたについては『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「Canon IJ Printer Utilityの開きかた（Macintosh）」を参照してください。

チェック 5　印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。
アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「印刷できる範囲」

チェック 6　原稿台ガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスを清掃してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「原稿台の周辺部分を清掃する」

チェック 7　給紙ローラが汚れていませんか

給紙ローラクリーニングを行ってください。
⇒「給紙ローラをクリーニングする」（P.80）

参　考

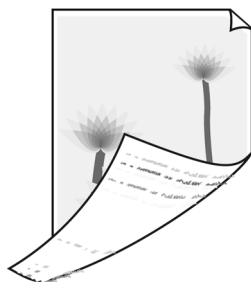
- 給紙ローラクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック 8　本製品内部が汚れていませんか

両面印刷などを行うと、本製品の内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。
インクふき取りクリーニングを行って、本製品内部をお手入れしてください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「インクふき取りクリーニングを行う」

参　考

- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

用紙の裏面が汚れる

チェック 1　用紙や印刷品質を確認しましたか

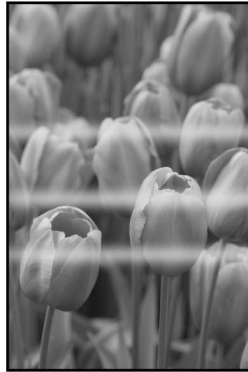
⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.89）

チェック 2　インクふき取りクリーニングを行って、本製品の内部を清掃してください

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「インクふき取りクリーニングを行う」

参　考

- 両面印刷や多量に印刷を行うと、本製品の内部が汚れることがあります。

色むらや色すじがある

チェック 1　**用紙や印刷品質を確認しましたか**

⇒「コピー／印刷結果に満足できない」（P.89）

チェック 2　**ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください**

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.68）を参照してください。

チェック 3　**プリントヘッドの位置調整を行ってください**

プリントヘッドの位置調整については、「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.68）を参照してください。

印刷が始まらない

チェック 1　電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参　考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。電源ランプが緑色に点滅している間、パソコンはデータを処理して本製品に転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

チェック 2　本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 USBケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

チェック 3　パソコンから印刷した場合、パソコンを再起動してみてください

不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください。
⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になった印刷ジョブを削除する」

チェック 4　プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください

異なる機種のプリンタドライバを使用していると、正常に印刷できません。
Windowsをご使用の場合は、［印刷］ダイアログで［Canon XXX Printer］（「XXX」は機種名）が選ばれていることを確認してください。
Macintoshをご使用の場合は、プリントダイアログの［プリンタ］でご使用の機種名が選ばれていることを確認してください。

参　考

- 本製品を［通常使うプリンタに設定］（Windows）、［デフォルトのプリンタ］または［デフォルトにする］（Macintosh）にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

チェック 5　プリンタポートを正しく設定してください

プリンタポートとして「USBnnn」を設定してください（“n”は数字）。

1　管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする

2　［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選ぶ

Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順に選びます。
Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。

3　［Canon XXX Printer］アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［プロパティ］を選ぶ

4　［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX Printer］と表示されている［USBnnn］（"n"は数字）が選ばれているか確認する

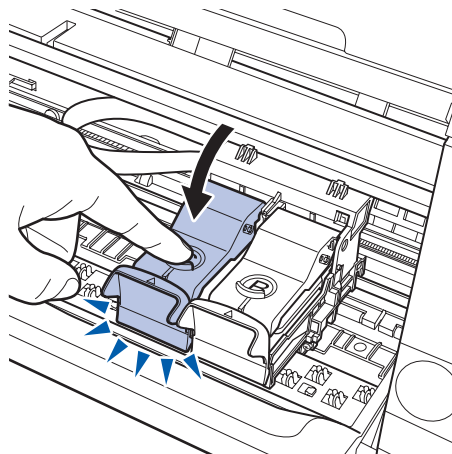
設定が誤っている場合は、MPドライバを再インストールするか、印刷先のポートを正しいものに変更してください。

動作はするがインクが出ない

チェック 1　プリントヘッドが目づまりしていませんか

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。
ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.68）を参照してください。

チェック 2　FINEカートリッジは正しく取り付けられていますか

インクカートリッジ固定カバーが正しく閉じられていないと、正常にインクが出ない場合があります。
スキャナユニット（カバー）を開け、インクカートリッジ固定カバーを取り外し、取り付け直してください。
インクカートリッジ固定カバーは「カチッ」という音がするまで、しっかり押して閉じてください。

チェック 3　インクがなくなっている場合は、新しいFINEカートリッジに交換してください

FINEカートリッジホルダが交換位置に移動しない

チェック 1　電源ランプが消えていませんか

電源ランプが緑色に点灯していることを確認してください。
電源が入っていないとFINEカートリッジホルダは移動しません。電源ランプが消灯している場合は、スキャナユニット（カバー）を閉じて電源を入れてください。
電源ランプが緑色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わってから、もう一度スキャナユニット（カバー）を開けてください。

チェック 2　エラーメッセージが表示されていませんか

スキャナユニット（カバー）をいったん閉じ、表示されたエラー／確認メッセージにしたがってエラーを解除してから、開いてください。対処方法については、「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.83）を参照してください。

用紙がうまく送られない

チェック 1　次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、用紙ガイドの積載マークを超えないようにしてください。
  ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください。
- 後トレイに用紙をセットするときは、印刷したい面を上にして、用紙ガイドを用紙の両端に軽く当ててください。

⇒「用紙をセットする」（P.58）

チェック 2　厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

⇒「用紙／原稿をセットする」の「使用できない用紙について」（P.65）

チェック 3　はがきや封筒をセットする場合は、次のことに注意してください

- はがき、往復はがきが反っていると積載マークを超えてセットしていなくても、うまく送られないことがあります。
  はがき、往復はがきは、郵便番号欄を下向きにセットしてください。
- 封筒に印刷するときは「用紙／原稿をセットする」の「封筒をセットする」（P.60）を参照し、印刷前に準備をしてください。
  準備ができたら、本製品に縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。

チェック 4　後トレイに異物がある場合は取り除いてください

チェック 5　給紙ローラクリーニングを行ってください

⇒「給紙ローラをクリーニングする」（P.80）

参　考

- 給紙ローラのクリーニングは給紙ローラが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

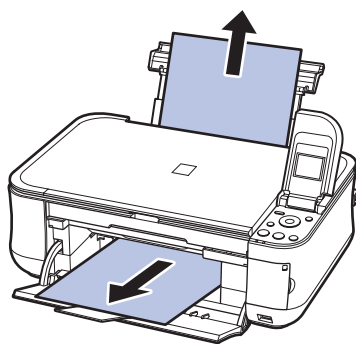
用紙がつまった

参　考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

排紙口／後トレイで用紙がつまったとき：

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1　排紙側または給紙側（引き出しやすい方）から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く

参　考

- 用紙が破れて本製品の内部に残ってしまったときは、本製品の電源を切り、スキャナユニット（カバー）を開けて取り除いてください。
  このとき、本製品の内部の部品に触れないように注意してください。
  用紙を取り除いたら、スキャナユニット（カバー）を閉じて本製品の電源を入れ直してください。
- 用紙が引き抜けない場合は、本製品の電源を入れ直してください。用紙が自動的に排出されることがあります。

2　用紙をセットし直し、本製品のOKボタンを押す

手順1で電源を入れ直した場合、本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参　考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。
  ⇒「用紙をセットする」（P.58）
- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷はA5サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.118）

それ以外のとき：

次のことを確認してください。

チェック 1 **後トレイや排紙口付近に異物はありませんか**

チェック 2 **反りのある用紙を使用していませんか**

⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「チェック 3 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」（P.95）

パソコンの画面にメッセージが表示されている

「サービスエラー 5100」が表示されている

チェック FINEカートリッジホルダの動きが妨げられていませんか

パソコンで印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。それから、FINEカートリッジホルダの保護材やつまった用紙など、FINEカートリッジホルダの動きを妨げているものを取り除いてください。

重　要

- このとき内部の部品には触れないよう、十分注意してください。印字結果不具合などの原因となります。

本製品の電源を入れ直してみてください。
それでも回復しない場合は、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.118）

Windows 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」

チェック 1 電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが緑色に点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2 MP ドライバのプロパティで、プリンタポートが正しく設定されていることを確認してください

※以下の手順で、「XXX」はご使用の機種名を表します。

1 **管理者（Administratorsグループのメンバー）としてWindowsにログオンする**
2 **［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選ぶ**
Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタとその他のハードウェア］、［プリンタとFAX］の順に選びます。
Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。
3 **［Canon XXX Printer］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選ぶ**
4 **［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に［Canon XXX Printer］と表示されている［USBnnn］（"n"は数字）が選ばれているか確認する**
設定が誤っている場合は、MP ドライバを再インストールするか、印刷先のポートを正しいものに変更してください。

チェック 3　本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

チェック 4　MP ドライバが正しくインストールされていることを確認してください

『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMP ドライバを削除する」に記載されている手順にしたがってMP ドライバを削除したあと、『かんたんスタートガイド』の操作にしたがって、再インストールしてください。

チェック 5　パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順にしたがって、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

1 **［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］、［デバイス マネージャ］の順に選ぶ**
［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。
Windows XPをご使用の場合は、［コントロール パネル］から［パフォーマンスとメンテナンス］、［システム］を順にクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。
Windows 2000をご使用の場合は、［コントロール パネル］の［システム］をダブルクリックし、［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］ボタンをクリックします。

2 **［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］（Windows Vista以外をご使用の場合は［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］）、［USB印刷サポート］の順にダブルクリックする**
［USB印刷サポート］が表示されない場合は、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。
⇒「チェック 3 本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください」（P.107）

3 **［全般］タブをクリックして、デバイスの異常が表示されているか確認する**
デバイスの異常が表示されている場合は、Windowsのヘルプを参照してトラブルを解決してください。

Macintosh 「エラー番号：300」が表示されている

チェック 1　電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが緑色に点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2　本製品のUSBケーブル接続部とパソコンがUSBケーブルでしっかり接続されていることを確認してください

- USBハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USBハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USBケーブルに不具合があることも考えられます。別のUSBケーブルに交換し、もう一度印刷してみてください。

チェック 3　プリントダイアログの［プリンタ］で、ご使用の機種名が選ばれていることを確認してください

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「プリンタドライバの開きかた（Macintosh）」

Macintosh「エラー番号：1701」が表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インク吸収体が満杯に近づきました」（P.84）を参照し、対処してください

Macintosh「インク情報番号：1688」が表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクがなくなりました　インクカートリッジを交換してください」（P.84）を参照し、対処してください

Macintosh「インク情報番号：1686」が表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「インクがなくなっている可能性があります　インクの交換をお勧めします」（P.83）を参照し、対処してください

Macintosh「エラー番号：2001」が表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していない機器が接続されました　取り外してください」（P.85）を参照し、対処してください

Macintosh「エラー番号：2002」が表示されている

チェック　「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」の「対応していないUSBハブが接続されました　取り外してください」（P.85）を参照し、対処してください

Windows そのほかのエラーメッセージ

チェック　プリンタ状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください

- ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。
  不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。
- メモリ不足のため、正常にスプールできませんでした。
  起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリを増やしてください。
  それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。
- プリンタドライバが読み込めませんでした。
  『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「不要になったMPドライバを削除する」に記載されている手順にしたがってMPドライバを削除し、再インストールしてください。
- 「アプリケーションソフト名」－「文書名」を印刷できませんでした。
  現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

PictBridge対応機器にエラーメッセージが表示されている

PictBridge対応機器から印刷するときのトラブルについては、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

参　考

- PictBridge対応機器に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。そのほか、PictBridge対応機器側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

携帯電話からうまく印刷できない

携帯電話から印刷するときのトラブルについては、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

フォトナビシートからうまく印刷できない

チェック **［フォトナビシートの読み取りに失敗しました］が表示されている場合は、次のことを確認して、OKボタンを押してください。その後、再度［シート読取＆印刷］を実行してください**

- 原稿台ガラスにフォトナビシートを正しい向きや位置にセットしましたか。
- 原稿台ガラスやフォトナビシートは汚れていませんか。
- フォトナビシートにチェックもれがありませんか。
- DPOF印刷を選択しているにも関わらず、各画像の印刷枚数にチェックマークを付けていませんか。

参　考

- 塗りつぶしたマークが薄かったり、塗りつぶし範囲が小さいと、フォトナビシートを正しく読み込めない場合があります。

メモリーカードが取り出せない

お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
⇒「お問い合わせの前に」（P.118）

重　要

- 細い棒やピンセットなどを使用して取り出さないでください。故障の原因になります。

参　考

- 次のメモリーカードは専用のカードアダプタが必要です。専用のカードアダプタを取り付けてから、本製品のメモリースロットに挿入してください。
  miniSDカード／miniSDHCカード／microSDカード／microSDHCカード／xD-Pictureカード／xD-PictureカードType M／xD-PictureカードType H／メモリースティック マイクロ／RS-MMC（ver.4.1）

付録

仕様

装置の概要	
印刷解像度（dpi）	4800（横）* × 1200（縦） *　最小1/4800インチのドット（インク滴）間隔で印刷します。
インターフェース	プリンタ接続部： High-Speed USB*1 カメラ接続部： PictBridge Bluetooth v2.0（オプション）*2 *3 *4 USBフラッシュメモリー *1 Hi-Speed USBでのご使用は、パソコン側がHi-Speed USBに対応している必要があります。 また、Hi-Speed USBインターフェースはUSB 1.1の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースがUSB 1.1でも接続してご使用いただけます。 *2 最大通信速度：1.44 Mbps *3 イメージ形式（JPEG/PNG）のみ *4 Bluetooth接続はプリント時のみ
印字幅	最長　203.2 mm　　フチなし時：最長216 mm
稼動音	約46.5 dB（A）（キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドで標準印刷時）
動作環境	温度：5 ～ 35 ℃ 湿度：10 ～ 90 % RH（結露しないこと）
保存環境	温度：0 ～ 40 ℃ 湿度：5 ～ 95 % RH（結露しないこと）
電源	AC 100V　50/60 Hz
消費電力	印刷時（コピー時）：約13.0 W 待機時（スリープ時）：約2.2 W* 電源OFF時：約0.9 W* *　USB接続時 ※電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法	約444 mm（横）× 331 mm（奥行き）× 154 mm（高さ） ※用紙サポートと排紙トレイを格納した状態
質量	本体　約5.7 kg ※FINEカートリッジを取り付けた状態
キヤノンFINEカートリッジ	BC-310（ブラックカートリッジ） BC-311（カラーカートリッジ） ノズル数： ブラック：320ノズル シアン／マゼンタ／イエロー：各384ノズル

コピー仕様	
連続コピー枚数	最大99枚
濃度調整	自動濃度調整あり（AE コピー）
拡大／縮小	自動変倍

スキャナ仕様

スキャナ仕様	
スキャンドライバ	TWAIN準拠/WIA（Windows VistaまたはWindows XPのみ）
最大原稿サイズ	A4/レター、216×297 mm
読み取り解像度	光学（主走査、副走査）最大：2400×4800 dpi ソフトウェア補間（主走査、副走査）最大：19200×19200 dpi
読み取り階調（入力／出力）	グレースケール：16 bit / 8 bit カラー：48 bit / 24 bit（RGB各色16 bit / 8 bit）

動作条件

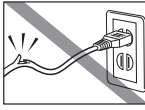
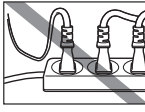
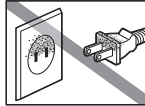
参　考　OSの動作条件が高い場合はそれに準じます。

	Windows	Macintosh
OS **CPU** **メモリ**	Windows Vista 1GHz 以上のプロセッサ 512MB以上 Windows XP SP2 300 MHz以上のプロセッサ 128 MB Windows 2000 Professional SP4 300 MHz以上のプロセッサ 128 MB 注）Windows Vista、XP、2000のいずれかがプレインストールされているコンピュータ	Mac OS X v.10.5 Intelプロセッサ、PowerPC G5 PowerPC G4（867Mhz以上）以上 512MB以上 Mac OS X v.10.4 Intelプロセッサ、PowerPC G5、PowerPC G4、PowerPC G3 256 MB Mac OS X v10.3.9 PowerPC G5、PowerPC G4、PowerPC G3 128 MB 注）Mac OS 拡張（ジャーナリング）またはMac OS拡張でフォーマットされたハードディスクが必要です。
ブラウザ	Internet Explorer 6.0以上	Safari
ハードディスク空き容量	700 MB以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量	700 MB以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量
CD-ROMドライブ	必要	
表示環境	XGA 1024 x 768以上	

- Windows Media Centerでは、一部の制限があります。
- Windows XP からWindows Vistaにアップグレードして本製品をお使いになる場合は、キヤノン製インクジェットプリンタに付属のソフトウェアをアンインストールしてからWindows Vistaにアップグレードしてください。アップグレード後、ソフトウェアをインストールしてください。

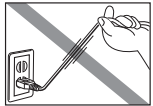
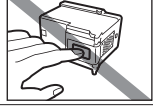
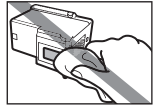
電子マニュアル（取扱説明書）の動作環境

Windows	Macintosh
ブラウザ：Easy Guide Viewer ※Microsoft Internet Explorer 6.0以上がインストールされている必要があります。 ご使用のOSやInternet Explorerのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、Windows Updateで最新の状態に更新することをお勧めします。	ブラウザ：ヘルプビューワ ※ご使用のOSやヘルプビューワのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、ソフトウェアアップデートで最新のバージョンに更新することをお勧めします。

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（MSDS）につきましては、キヤノンホームページにてご覧いただけます。
canon.jp/ecology

付録

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行なわないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

⚠警告

• 以下の注意事項を守らずにご使用になると、感電や火災、本製品の損傷の原因となる場合があります。

設置場所について	アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに置かないでください。
電源について	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
	電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
	電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。
	ふたまたソケットなどを使ったタコ足配線をしないでください。
	電源コードを束ねたり、結んだりして使わないでください。
	万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
	電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。 ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因となります。
	近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。火災・感電・故障の原因になります。
	本製品に付属されている電源コードをご使用ください。 なお、本製品の動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。 電源電圧：AC 100V　電源周波数：50/60 Hz
お手入れについて	清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。 本製品内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。
	清掃のときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 清掃中に誤って本製品の電源が入ると、けがや本製品の損傷の原因となることがあります。
取扱いについて	本製品を分解、改造しないでください。 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。
	本製品の近くでは、可燃性の高いスプレーなどは使用しないでください。 スプレーのガスが内部の電気部品に触れて、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 以下の注意を守らずにご使用になると、けがや本製品の損傷の原因になる場合があります。

設置場所について	不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。
	湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。 次の使用環境でお使いください。温度：5℃～ 35℃　湿度：10% RH ～ 90% RH
	毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。 毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因となることがあります。
	本製品背面を壁につけて置かないでください。
電源について	電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
	延長電源コードは使用しないでください。
	いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
	万一の感電を防止するために、コンピュータのアース接続をお勧めします。
取扱いについて	印刷中は本製品の中に手を入れないでください。 内部で部品が動いているため、けがの原因となることがあります。
	本製品の上にものを置かないでください。
	本製品の上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
	万一、異物（金属片や液体など）が本製品内部に入った場合は、電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターまたは修理受付窓口に修理をご依頼ください。
	本製品を使用／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。
	原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、原稿台カバーを強く押さえないでください。 原稿台ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。
FINEカートリッジ（インクカートリッジ）について	お子様の手の届かないところに保管してください。誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ1、2杯の水を飲ませてください。 万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
	インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。 インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
	FINEカートリッジ（インクカートリッジ）を振らないでください。 インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。
	印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。 熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。
	FINEカートリッジ（インクカートリッジ）を火中に投じないでください。
	FINEカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。
	FINEカートリッジを落としたり、力を加えるなど乱暴に扱うことは避けてください。
	FINEカートリッジを洗浄したり、拭いたりしないでください。
	一度取り付けたFINEカートリッジは不必要に取り外さないでください。

付録

- 蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意
  蛍光灯などの電気製品と本製品は約 15cm 以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因で本製品が誤動作することがあります。
- 電源を切るときのご注意
  電源を切るときは、必ず電源ボタンを押して電源ランプ（緑色）が消灯していることを確認してください。電源ランプが点灯・点滅しているときに電源プラグをコンセントから抜いて切ると、プリントヘッドを保護できずその後印刷できなくなることがあります。

原稿をスキャンするときの注意事項

以下を原稿としてスキャンするか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

お問い合わせの前に

本書または『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

パソコンなどのシステムの問題は?

本製品が正常に動作し、MPドライバのインストールも問題なければ、接続ケーブルやパソコンシステム（OS、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーにご相談ください。

特定のアプリケーションソフトで起こる場合は?

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、MPドライバを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

MPドライバのバージョンアップの方法は、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

本製品の故障の場合は?

どのような対処をしても本製品が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本製品の故障と判断されます。
パーソナル機器修理受付センターに修理を依頼してください。

パーソナル機器修理受付センター

050-555-99088

【受付時間】<平日>9:00〜18:00（日祝、年末年始を除く）

その他のお困り事は?

どこに問題があるか判断できない場合やその他のお困り事は、キヤノンお客様相談センターまでご相談ください。もしくは、キヤノンサポートホームページをご利用ください。

キヤノンお客様相談センター
050-555-90015

【受付時間】 <平日>9:00〜20:00
<土日祝>10:00〜17:00（1/1〜1/3を除く）

キヤノンサポートホームページ canon.jp/support

デジタルカメラや携帯電話の操作については、各機器の説明書をご覧いただくか説明書に記載されている相談窓口へお問い合わせ下さい。

●弊社修理受付窓口につきましては、別紙の『**サポートガイド**』をご覧ください。

※本機を修理にお出しいただく場合
- FINEカートリッジは、取り付けた状態で本製品の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- 本製品が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。

重要： 梱包時/輸送時には本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。
他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本製品がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い： 保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品（インク）の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の際には、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけない場合、またご使用可能なパソコンのOSが変更される場合もあります。

付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口

ソフトウェアについては、『セットアップCD-ROM』の電子マニュアル（取扱説明書）、または
ソフトウェアのREAD MEファイル、HELPなどをあわせてご覧ください。

- らくちんCDダイレクトプリントfor Canon
  （株）メディアナビ　03-5467-1781
  http://www.medianavi.jp/　「サポート」
- 読取革命Lite
- ファイル管理革命Lite
  パナソニック　ソリューションテクノロジー（株）
  0570-00-8700
  092-483-4322
  パナソニック　ソリューションテクノロジー　ソフトサポートセンター
  http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/bundle/
- ArcSoft PhotoStudio（アークソフトフォトスタジオ）
  アークソフトジャパン　0570-06-0655
  http://www.arcsoft.jp/en/「テクニカルサポート」
- 上記以外のソフトウェア
  キヤノンお客様相談センター　050-555-90015
  canon.jp/support

※ご使用の製品によって付属されるソフトウェアは異なります。

使用済みインクカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクカートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
　　キヤノンサポートホームページ　　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

■使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動
キヤノンでは、使用済みカートリッジ回収を通じてベルマーク運動に参加しています。
ベルマーク参加校単位で使用済みカートリッジを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。
この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
　環境への取り組み　canon.jp/ecology

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。また、おかけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

【インクジェット複合機との接続環境について】

■パソコンと接続している場合

パソコンメーカ名（　　　　　　　　）モデル名（　　　　　　　　）

CPU名（　　　　　）クロック周波数（　　　　　MHz）

搭載メモリ容量（　　　　　MB）ハードディスク容量（　　　　　MB/GB）

OS名　・Windows　□Vista　□XP　□2000（Ver.　　　　　）

　　　・Mac OS（Ver.　　　　　）　・その他（　　　　　）

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン（　　　　　）

ウイルスチェック等ご使用の常駐ソフト名およびバージョン（　　　　　）

接続ケーブル：□付属USBケーブル　□その他（メーカや型番:　　　　　）

接続方法：□直結（HUB使用　有/無）□ネットワーク（種類:　　）□その他（　　　　　）

■カメラとダイレクト接続している場合

カメラメーカ名（　　　　　　　　）モデル名（　　　　　　　　）

■メモリカードをご使用の場合

メモリカード種類（　　　　）メモリカードメーカ（　　　　）型番（　　　　）

【エラー表示】

表示されたエラーメッセージ　（できるだけ正確に）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

知って得するヒント集

お使いの製品についての豆知識、きれいに印刷するためのヒントを紹介しています。

インクはこんなふうに使われています

豆知識

印刷以外にもインクが使われる？

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。それは、きれいな印刷を保つために行うクリーニングのとき。
本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングでは、ノズルからインクを吸い出すため、わずかな量のインクが使用されます。

重　要

- 吸い出されたインクは、製品内部の「インク吸収体」に吸収されます。インク吸収体は満杯になると交換が必要です。お客様ご自身での交換はできませんので、エラーメッセージが表示されたら、お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口にご連絡ください。

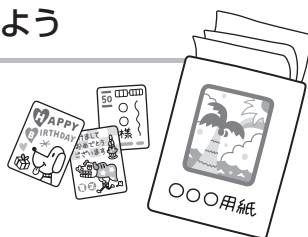
⇒「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」（P.83）

豆知識

モノクロ印刷でもカラーインクが使われる？

ブラックインクとカラーインクの使われかたは、印刷する画像の色合いや印刷物の内容によって異なります。
モノクロ印刷でもカラーのインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

特別な用紙に印刷……失敗しないためのポイントは!?

印刷前に**本製品の状態**を確認しよう

●プリントヘッドの状態は大丈夫？

印刷がかすれてはせっかくの用紙が無駄に……。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認しておきましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」(P.68)

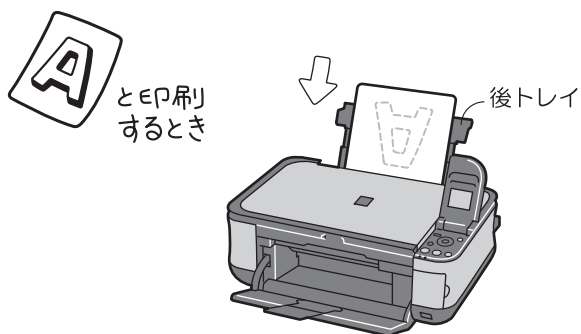
●本製品の内部がインクで汚れていませんか？

大量に印刷したあとやフチなし印刷をしたあとは、用紙の通過した部分がインクで汚れていることがあります。インク拭き取りクリーニングで内部のそうじをしましょう。

⇒『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）

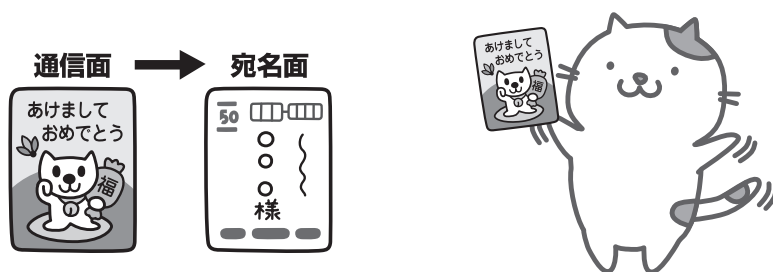
ヒント!

用紙のセット方法を確認しよう

●用紙の向きは大丈夫？

印刷したい面を**上**にしてセットする

●はがきはどちらの面を先に印刷？

はがきの両面に印刷するときは、通信面から先に印刷すると、よりキレイに仕上がります。

⇒「はがきに印刷するときの注意」（P.58）

●その用紙、反っていませんか？

反った用紙は紙づまりの原因に。用紙は平らにしてからセットしてください。

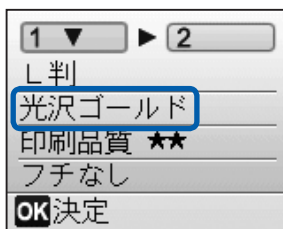
⇒「印刷面が汚れる／こすれる」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」（P.95）

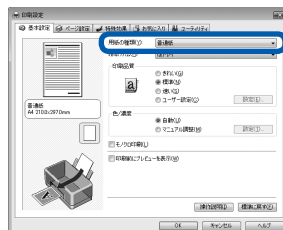
つづく

ヒント!

用紙をセットしたあとは、**用紙の設定**を忘れずに！

STEP 1　用紙をセットしたら

STEP 2　用紙の種類を選ぶ

操作パネル

または

プリンタドライバ

用紙のセットが済んだら、操作パネルまたはプリンタドライバの［用紙の種類］で、必ずセットした用紙を選んでください。用紙の種類を設定しないと、せっかく正しく用紙をセットしても満足な印刷結果が得られないことがあります。⇒P.89

用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、［用紙の種類］にはあらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）がされています。そのため、セットした用紙を［用紙の種類］で選ぶことでそれぞれの用紙に適した印刷ができるのです。

印刷中止は、ストップボタンで

ヒント!

電源ボタンは**押さないで**！

印刷中に電源ボタンを押してしまうと、パソコンから送られた印刷データなどが本製品にたまって印刷できなくなることがあります。印刷を中止したいときは、ストップボタンを押してください。

参　考

- パソコンからの印刷中に、ストップボタンを押しても印刷が中止されないときは、プリンタドライバの設定画面を開き、プリンタ状態の確認画面から不要となった印刷ジョブを削除してください。（Windows）

最新版のMPドライバを手に入れよう

キヤノンのホームページでは、最新版のMPドライバを提供しています。
最新版のMPドライバは、古いバージョンに改良を加えたり新機能に対応しているため、ドライバを新しくする（アップデートする）ことによって、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンのトラブルを解決できることがあります。

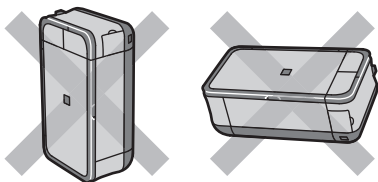
STEP 1
まずは、キヤノンのホームページ（canon.jp/download）にアクセスして、最新版のMPドライバをダウンロード

STEP 2
本製品の電源を切り、電源ランプの消灯を確認してから、本製品とパソコンを接続しているUSBケーブルを抜く

STEP 3
古いMPドライバを削除する（Windowsの場合）
［スタート］→［(すべての）プログラム］→［Canon（ご使用の製品名）series］→［MPドライバ アンインストーラ］の順にクリックします。
以降は画面の指示にしたがってください。

STEP 4
ダウンロードした最新のMPドライバをインストールする

詳しい手順はキヤノンのホームページを参照してください。

使用時や移動時に注意することは？

製品を**立てたり傾けたりしない**で！

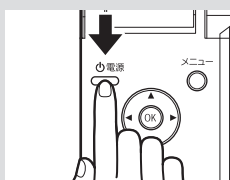
製品を立てたり傾けたりすると、製品がダメージを受けたり、まれに本体からインクが漏れるおそれがあります。
使用時や移動時には本製品を傾けないようご注意ください。

いつもきれいな印刷を楽しむためには？

きれいな印刷を保つカギは、プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐこと。そのために次のことを守って、いつもきれいな印刷を楽しんでください。

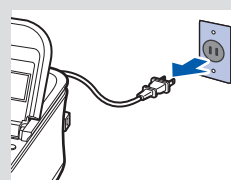
●電源プラグを抜くときは次の順番で

STEP 1

本製品の電源ボタンを押して、電源を切る

STEP 2

電源ランプが消えたことを確認

STEP 3

電源プラグをコンセントから抜く、または、テーブルタップのスイッチを切る

電源ボタンを押して電源を切ると、本製品は自動的にプリントヘッド（インクのふき出し口）にキャップをして乾燥を防ぐようになっています。ところが、電源ランプが消える前にコンセントから電源プラグを抜いたり、テーブルタップのスイッチを切ってしまうと、プリントヘッドが正しくキャップされずに乾燥や目づまりの原因となります。
電源プラグを抜くときは、必ずこの順番を守ってください。

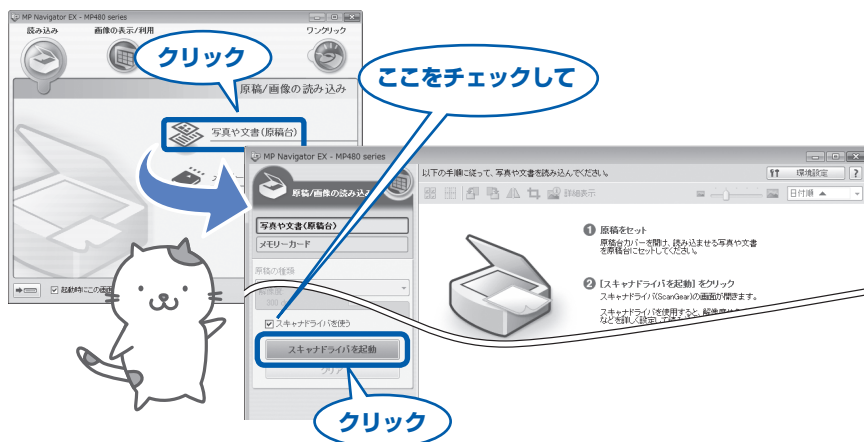
●定期的に印刷しよう

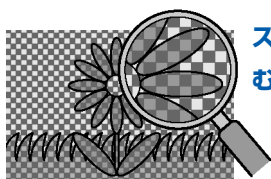
サインペンは長期間使われないと、キャップをしていてもペン先が乾いて書けなくなることがあります。同様に、プリントヘッドも印刷をしないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。最低でも、月に１回程度は印刷することをお勧めします。

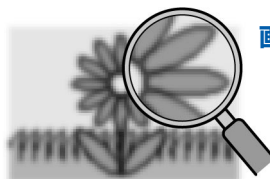
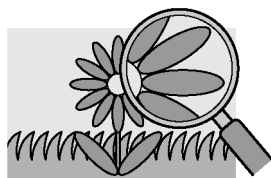
参　考

- 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着すると、インクがにじむことがあります。

パソコンから
画像がきれいにスキャンできなかったときには？

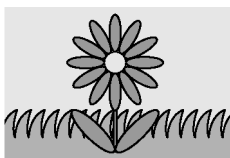
MP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス）を使っている場合は、設定を変えてスキャンしてみましょう。

重　要

- ［モアレ低減］や［輪郭強調］を［ON］にすると、スキャンに時間がかかることがあります。
- ［モアレ低減］が［ON］になっていても、［輪郭強調］が［ON］になっているとモアレが残ることがあります。その場合は、［輪郭強調］を［OFF］にしてください。

スキャンした画像にむらがある……

詳細設定で［モアレ低減］を［ON］にしてスキャン

画像がぼやけている……

詳細設定で［輪郭強調］を［ON］にしてスキャン

詳しくは、『もっと活用ガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

あれあれ？ 色がおかしい、かすれるなぁ・・

ノズルチェックパターンでノズルのつまりを確認しよう

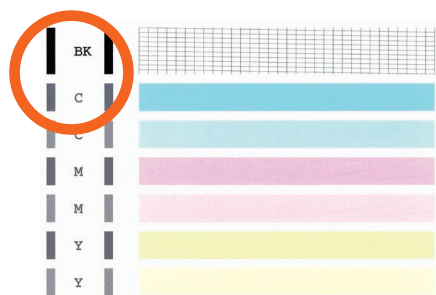
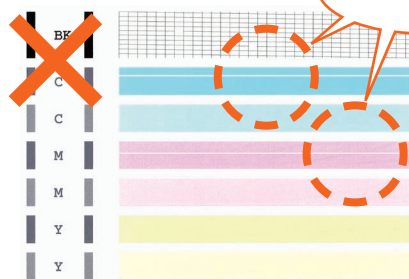
プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目づまりすると、色味がおかしかったり、印刷がかすれることがあります。

この写真が

こんなことに

ニャ、ニャンだ !?
こんなときには、どうするニャ？

ノズルチェックパターンを印刷

印刷したチェックパターンを確認すると、ノズルが目づまりしているかどうかがわかります。

ノズルに目づまりはありません。

チェック！

こんなふうになっていたら、ノズルが目づまりしているサイン。今すぐお手入れして、写真を元どおりのきれいな色で印刷しましょう。

⇒「印刷にかすれやむらがあるときには」（P.68）

●キヤノン PIXUS ホームページ　**canon.jp/pixus**

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●キヤノンお客様相談センター　**050-555-90015**

PIXUS ･インクジェット複合機に関するご質問・ご相談は、上記の窓口にお願いいたします。
年賀状印刷に関するお問い合わせは、下記専用窓口にお願いいたします。

年賀状印刷専用窓口　050-555-90019（受付期間：11/1～1/15）

【受付時間】〈平日〉9:00 ～ 20:00、〈土日祝日〉10:00 ～ 17:00
（1/1～1/3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は **043-211-9631** をご利用ください。
※ＩＰ電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品で使用できる FINE カートリッジ番号は、以下のものです。

FINE カートリッジについてのご注意

・FINE カートリッジに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
・インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下や FINE カートリッジの故障の原因となることがあります。非純正インクのご使用はお勧めしません。
・非純正インクカートリッジまたは非純正インクを使用したことによる不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

※FINE カートリッジの交換については、本書の「FINE カートリッジを交換する」を参照してください。

紙幣、有価証券などを本製品で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

QT5-1585-V02　XXXXXXXX　　PRINTED IN VIETNAM